

## 6 月 25 日 (土) 第 55 回総会に参加を！

### 永井正夫氏 62 期 が講演 映画「山極勝三郎物語」を制作



映画プロデューサー  
永井正夫氏

関東同窓会は 6 月 25 日 (土)、千代田区一ツ橋の如水会館で第 55 回総会・懇親会を開催します。イベントは今秋公開予定の「うさぎ追いつしー山極勝三郎物語」を制作中の映画プロデューサー永井正夫氏 (62 期) の講演。懇親会ではトロンボーン奏者奥村晃氏 (89 期) の演奏をお楽しみください。永井氏は上田市出身。舞台活動ののち市川崑、新藤兼人らの助監督を務め、篠田正浩監督の「少年時代」、森田芳光監督の「失楽園」をプロデューサーとして数多く送り出しています。

日本の発がん研究の先駆けとなった山極勝三郎は、東京帝大教授時代にウサギの耳にコールドターペルを塗って人工がんを作り、ノーベル医学・生理学賞候補になった。しかし同賞はラットに胃がんを発見したと発表して同時に候補になつたデンマーク人が受賞。このデンマーク人の実験は誤りだと分かり、今では世界で初めてがんを作つたのは山極と考えられていたが、日本人初のノーベル賞は幻になつた。



奥村 晃氏

### 奥村晃氏 (89 期) トロンボーン演奏

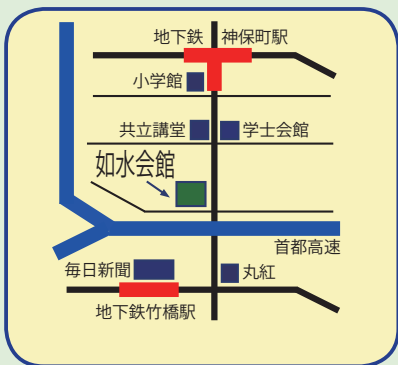
奥村氏は東京芸大出身、新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーとして活動のほか榎原敬之、椎名林檎、渡辺貞夫らのバンドツアーやレコーディングにも参加。奥村氏は「皆さまご存知の曲を中心に、聴きやすいプログラムになつていきますのでぜひ足をお運びください」と話しています。

### 一層の活動活発化を 基金活用で検討委答申

基金の活用による同窓会活動の一層の活発化を図るため、昨年 10 月の幹事会で「基金活用検討委員会」(委員長・滝澤進氏 61 期) 設置の承認をいただき、約半年間検討の後、4 月 8 日の役員会で答申がありました。答申のポイントは以下の通りです。

①元金も含め 600 万円を

(3 ページ) に関連記事、4、5 ページに答申全文



開始が例年より 1 時間早くなっています。

- 【日時】 6 月 25 日 (土)  
11:45 受付開始  
12:30~17:00 講演会、総会、演奏会、懇親会
- 【会場】 千代田区一ツ橋 2-1-1 如水会館 (☎ 03-3261-1101)
- 【会費】 6,000 円 (111、112、113 期は 2,000 円)  
114 期は無料 (予約申し込みが必要)
- 【交通】 ▶地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車 A9 出口 徒歩 3 分  
▶地下鉄東西線の竹橋駅下車 1b 出口 徒歩 4 分

# チェロと真田丸の新年会 寺島さんの演奏楽しむ

関東同窓会の新年会は1月21日、千代田区一ツ橋の教育会館で開き、44〜5期から105期の約100人が参加した。イベントは同窓生でフリーのチェロ奏者寺島志織さん(105期)が、新明知美さんのピアノ伴奏で、メンデルスゾーンの「春の歌」などクラシックのほか、長野県出身の作曲家による「夕焼けこやけ」(草川信)、「しゃぼん玉」(中山晋平)、「おくりびと」(久石譲)などを、トクを交えて演奏。参加者は約40分



にわたり優雅なチェロの音色に聴き入った。最後はチェロの伴奏で、全員で校歌を斉唱した。  
続いて開いた懇親会では、高梨奉男会長が、「真田丸」の放映に当たって、本部の日置理事長や校友から「番組のどこかで母校の校門や校歌を紹介してもらえないだろうか」という要望を受け、総会当日、講師の真田丸のチーフ・プロデューサー屋敷陽太郎氏に控室でお願いしていたところ、第1回の最後に両方とも放映されたこと経緯を紹介。「1年間真田丸を応援していきましよう」と呼び掛けた。  
清水巻郎さん(46期)の乾杯で懇談が始まり、6月25日の総会で実行委員長を務める古畑克巳さん(69期)が「いろいろなイベントを考えているのでぜひ参加して」と呼び掛けた。藤村延魚さん(54期)が六文銭の付いた鉢巻きと法被姿で応援歌と凱歌などをリード、会場に歌声が響き盛り上がった。会場には真田丸のポスターも貼られ、「真田丸の年」を思わせる新年会となった。

## KICK OFF

### 実行委員期が始動

今年は69、74、79、84、89期

### 69期は新橋で

3月26日(土)の昼下がり、69期16人が集まった。今を時めく六文銭の鉢巻きをしていたのは上田高校の後輩である店のオーナーだけだったが、参加者が総会で期待されている実行委員期の役割を無事に果たそうという決意に満ちていたのは疑いない。

会場は新橋駅前にある居酒屋「正味亭尾和」。地ビールの「おらほビール」や信州の地酒、フキノトウやワラビなどの山菜をはじめ



69期

地域感、季節感あふれるメニューに舌鼓を打ちながら、自己紹介や近況報告をして旧交を温めた。

早くも仏像の彫像や絵画などの趣味に走る者、120歳まで現役で働き続けると豪語しながら離席して紫煙をくゆらせる者とさまざまである。皆、輝いて人生を送っている。

最後に総会実行委員長の古畑克巳氏から、各組5人計40人以上の同期参集を目標にそれぞれクラス仲間と声をかけることを酔眼ながらも誓い合って、たそがれの新橋に散っていった。

69期8組 関 和義

### 79期は八重洲で

1月23日、八重洲の中華料理店・泰興楼で第2回同期会が開催されました。幸い降雪の予報も外れて出席者は14人でした。3年前の上野での第1回・25人より少数でしたが、今回はメール連絡がつかない約40人へは往復はがきで案内するなどした結果、うち9人が初参加となり、2次会も13人が参加し

て大いに盛り上がりました。  
今年の関東同窓会総会は79期が実行委員を務めることを再確認し、6月25日(土)の再会を約束してお開きとなりました。

79期代表幹事 荻原 貴



79期

### 作品展示します

総会会場では会員の作品展示、頒布も実施します。書籍、写真、随筆、紀行文、手工芸品などの出品、班活動、同窓・同期・同級生の記録などの展示を歓迎します。

【申し込み・問い合わせ】

副会長 池田有美子(69期)

電話 080-3579-2675

メール yxy@mub.biglobe.ne.jp



# 慎重かつ有効に基金活用を

## 運営基金活用検討委員会

委員長 滝澤 進 (61期)



滝澤進委員長

運営基金活用検討委員会は、昨

年10月の設置以来慎重に検討を進めた結果、4月8日に答申を行いました。(4、5ページに答申の全文が掲載されています)

運営基金には、1985(昭和60)年の設置以来、608人もの会員から拠出が行われ、2015年3月末現在で、総額は1,130万円(基金利息80万円を含む)に達しています。

しかし、現在、活用が可能なのは利息収入に限られる一方、近年の金利低下によって年間利息収入が数千円程度にとどまっている状況から、基金の設置によって実現しようとした同窓会財政の安定には十分貢献できなくなっています。

このため、検討委員会では、新たな視点に立ちつつ、基金が同窓会の貴重な財産として慎重、かつ

有効に活用される必要があるとの考えを基本に、検討を行いました。

検討に当たって、基金に拠出をいただいた拠出者にアンケートを行うなど、幅広く会員の意見を伺うことに努めました。

4回の会合を含む慎重な検討の結果、主要な論点の一つである元金の活用を可能とするかどうかについては、最近の金利低下の状況から、元金の活用もやむを得ないとの結論となりました。しかし、利息分を含む取り崩しの限度額を設けることし、限度額につい

ては現行の基金総額の半額を目安に600万円とすることとしました。

また、単年度の取り崩し限度額については、最近の母校班活動の招聘費用などを勘案し、30万円としました。

このほか、取り崩した基金の使途は「同窓会活動の活発化」に資する事業に限ること、毎年度「運営基金特別会計」の予算および決算について総会で承認を得ることなどを答申に盛り込みました。

この答申は、本年度の総会で「運営基金運用規程」の改正案が承認されてから実施に移されますが、基金が有効に活用され、同窓会活動が一層活発化することが期待されます。

## 平成28年度に向けて

会長 高梨 奉男 (62期)



高梨奉男会長

平成27年度は「基金活用検討委員会」を設立し、滝澤進相談役(61期)を委員長に委員、相談役の皆さまに検討していただき、真剣な議論の結果を4月8日役員

式には6月25日の総会において承認を得て発効となります。本会報にその経緯や規定改正案を掲載いたしました。委員・相談役各位と基金を拠出して下さった皆さまに厚く御礼申し上げます。

各常設委員会から生まれたやまびこ句会、赤松小三郎研究会、女性同窓会は完全に定着した感があります。昨年の赤松研究会講演会に会員外の聴講が多数みられ、赤松小三郎は少し世に知られつつあるように感じます。同窓会への参加者増につながる施策として同期会結成を働きかけた結果、68期ほか三つの同期会が結成されました。また初めての試みですが、母校卒業式に併せて新卒業生に対し「地域同窓会に加入し、ネットワークを広げよう」のチラシを全員に配布しました。会費納入促進キャンペーンを実施しましたが、期によって成果はばらつきが出ました。会報「うえだ」は、会員だけでなく会報を目にした外部の皆さんからも高い評価いただけているようです。

以上のような活動をしつつ、経費節減に努めましたがほぼ予算通りの決算となりました。

平成28年度予算案は、基金活用の初年度となります。大切な基金

ですからその用途は答申にのっとったものとし、引き続き経費節減に努力しつつ、増収策としての会費納入促進、同期会結成促進と総会や新年会、同好会や女性同窓会への参加者増、会報への広告主増など、きめ細かな施策を実施していきたいと考えております。基金活用施策はその進捗や使用額の管理を徹底し、決算でもきちんと明示致します。期代表幹事各位には、各期をまとめていただき、各施策推進のためのお願いをすることあります。会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**信州ハム**  
信州上田の地で製品を作り続けています。

**信州ハム株式会社**

代表取締役社長 中村 幸男 (第65期)

〒386-8686 長野県上田市下塩尻950  
TEL 0268-26-8610 FAX 0268-26-8611

安心にまっすぐ。

グリーンマーキングは着色剤、着色料、保存料、リン酸塩を使用しないでつづけた信州ハムのハム・ソーセージにみられるシンボルマークです。

① 基金拠出者へのアンケート調査（平成27年11月1日～11月30日）

基金拠出者556名のうち住所が確認できた338名にアンケート用紙を送付し、137名から回答を得た。（回答率41%）

アンケートの結果は、見直し賛成57名（42%）、見直し反対4名（3%）、委員会に一任76名（55%）であった。また、基金の用途については、同窓会総会への母校班活動招へい費用が81%の賛成を得るなど、同窓会活動活発化のための用途への支持が高くなった。

また、意見としては、基金の増に努力すべき、活動経費は本来会費でまかなうべき（以上は見直し反対者からの意見）、安易に取り崩さないよう慎重な姿勢が大切、会費、総会参加者、寄付金の増などにより収入増を図るべき、経費削減を行うべき、基金の運用方法を改善すべき、などが出された。

② ホームページを通じての調査（平成27年12月25日～平成28年1月31日）

ホームページを通じては、1件の意見があり、基金の運用の改善についてのアドバイスなどが寄せられた。

各年度のニーズに合った用途への使用が可能となるよう規定することが適当である。

- ・ また、単年度の使用限度額についても、運用規程で一定の額を明記し、歯止めをかけておくべきであり、その額については最近の総会への母校班活動招へい費用等を勘案し、30万円とすることが適当である。

との結論となった。

(3) 基金自体のあり方について

基金は、設立当初に意図したものと異なっているため、取り崩しを進めたあとは、将来的には基金を廃止すべきとの意見があった。

これについては、

- ・ 基金は、同窓会の運営基盤を強化するために重要な役割を果たすものであり、同窓会の貴重な財産として将来とも可能な限り存続させるべきである。
- ・ 基金を存続させることにより今後の金利上昇等経済情勢の変化へ対応できる可能性を残しておくべきである。
- ・ 基金は、特別な場合における大口寄付者等からの寄付の受け皿としても有意義である。

等から、将来とも基金を存続することが適切であるとの結論となった。

3 答申の考え方（委員会の審議における論点論点とそれぞれに対する考え方）

上記会員からの意見等を踏まえ、委員会では今後の基金のあり方について、次のような論点を中心に検討を進め、その結果を答申に盛り込んだ。

(1) 元金の活用について

毎年度の利息収入が少額にとどまっている現状においては、同窓会運営の財政的安定や活動の活発化のため、元金についても利息を含め一定限度まで取り崩すことは止むを得ないとの結論となった。また、この場合の取崩しの限度額については、現行の基金総額1、130万円の半額を目安に、600万円とすることとなった。

(2) 基金の用途及び使用の限度額について

基金の用途や単年度の使用額については、予め制限を設けない方が良いのではないかと意見があった。

これについては、

- ・ 基金は同窓会の貴重な財産であり、拠出者の尊い善意に基づくものであることから慎重な取扱いが必要である。このため、運用規程において運用についての大まかなルールを明定し、そのルールの下で毎年度の取崩し額や用途を決定していく必要がある。
- ・ 特に、用途については、単なる赤字の穴埋めとして使用されることのないよう、運用規程において、「同窓会活動の活発化」に資する事業に充てることとする旨を明確に示しておくことが必要である。ただし、毎年度の用途については、「同窓会活動の活発化に資する事業に充てる」とのルールの下で、

(4) 基金への新たな拠出について

基金を取り崩すだけでなく、基金への新たな拠出についても努力すべきとの意見があった。

これについては、基金の取崩しを行っている状況下においては、大口の寄付者等で特に基金への拠出を希望されるような特別な場合を除き、基金への新たな拠出をお願いすることには、会員の理解が得られにくく、また、寄付金として受け入れる場合と比較し単年度の収入が減少する結果となることから、同窓会活動の活発化の観点からも、実状にそぐわないとの結論となった。

なお、大口寄付者等からの寄付の受け皿として基金を活用することについては、会員の十分な理解と協力が得られるよう、具体的な推進方策について検討を進めるべきである。

(5) 基金の運用について

基金の運用については、定期預金のみではなく、国債の購入を検討すべきではないかと意見があった。

これについては、国債の購入は可能とするが、期日前の国債の売却等による損失を生じないよう慎重に配慮しつつ、検討する必要があるとの結論となった。

4 その他

今回の検討の過程において、会員や委員から、「同窓会の運営経費は基本的には会費によってまかなわれるべきであることを踏まえ、若手会員の同期会の組織化等を進めつつ、会費納入に対する会員のいっそうの理解が得られるよう努める必要がある」との意見が出されたことを特に付記しておきたい。



運営基金の活用に関する答申

平成28年4月8日  
上田高等学校関東同窓会  
運営基金活用検討委員会

1 諮問と答申の概要

(1) 運営基金活用検討委員会（以下「委員会」）は、平成27年10月1日に設置され、次の事項を含む運営基金（以下「基金」）の活用のあり方について検討し、平成28年4月を目途に答申するよう諮問を受けた。

- ① 基金の活用方策（元本・利息別に）
- ② 基金の具体的な使途
- ③ 使途別、年度別の活用金額
- ④ 上記の検討結果を踏まえた「運営基金運用規程」の改正案

(2) 委員会は、この諮問を受け、基金拠出者へのアンケート調査などにより会員からの意見を伺いつつ、4回にわたり慎重な審議を重ねた結果、次のとおり答申することとした。

- ① 元金についても、今後、利息と合わせ600万円を限度として取り崩し、活用できることとする。
- ② 取り崩した基金の具体的な使途は、関東同窓会（以下同窓会）総会への母校班活動招へい費用など同窓会活動の活発化に資するものとする。
- ③ 単年度の基金の取崩しの限度額は30万円とするが、使途別の限度額は設けない。
- ④ 毎年度、「運営基金特別会計」についての予算及び決算を総会に提出し、承認を得る。
- ⑤ 以上を踏まえ、「運営基金運用規程」を次のとおり改正する。

○ 「運営基金運用規程改正案」

- (1) 運営基金（以下「基金」）は、関東同窓会の会運営の財政的安定と活動の活発化に貢献する事を目的とし、「運営基金特別会計」において経理する。
- (2) 基金は、安全確実な金融機関に託すほか、適切な場合には、国債の購入を行うことができる。
- (3) 基金は、会の運営上必要な場合には、総額600万円を限度として取り崩し、一般会計に繰り入れることができる。
- (4) 上記（3）において、単年度に取り崩すことのできる基金の額は30万円を限度とし、その使途は同窓会活動の活発化に資する次の事業の中から年度ごとに決定する。
  - ① 関東同窓会総会等への母校班活動招へい費用
  - ② 若手会員の同期会組織化の通信費等
  - ③ 新卒業生の総会招待への補助
  - ④ 年会費納入促進のための費用
  - ⑤ その他同窓会活動の活発化に資する事業
- (5) 上記（4）において、単年度の使用額が当該年度の取崩し額に満たない場合には、残額を翌年度に繰り越し（4）の使途に充て

ることができる。

(6) 毎年度、「運営基金特別会計」についての予算及び決算を総会に提出し、承認を得るものとする。

(7) この規程の改正は、総会において承認を得なければならない。

附則 この改正は、平成28年度の通常総会開催の日から実施する。

○ 「現行 運営基金運用規程」

- (1) 基金は関東同窓会の基本的財産として会運営の財政的安定に貢献する事を目的とする。
- (2) 基金は安全確実な金融機関に託し、元本はこれを保全し、利子のみを以て会の運営に資す。
- (3) 基金利子の使途は当面次の優先順位による。
  - ① 会員名簿の発行
  - ② 新卒業生の総会招待への補助
  - ③ 会費不納同窓生への会報送料の補助
  - ④ その他会運営の補助

2 答申に至るまでの経過

(1) 基金の現状と問題点

基金は、昭和60年、同窓会運営の財政的安定に貢献することを目的に、基金利子のみを会員名簿の発行等の使途に充てることとして設置された。（「運営基金運用規程」参照）設置以降608名の会員からの拠出により、その規模は平成27年3月末現在で、1,130万円（基金利息80万円を含む）に達している。

しかし、近年の金利の低下に伴い、利息収入は毎年度数千円程度にとどまっており、使途の制約等もあって、基金の設置により実現しようとした同窓会財政の安定には十分貢献できていない。（この間の基金の使用実績は平成17年度及び平成18年度の合計170万円に止まっている。また、平成26年度以降は、同窓会の収支や近年の金利低下の状況を踏まえ、基金への拠出ではなく、各年度の収入として活用可能な寄付の形での貢献をお願いしている）

(2) 委員会の審議経過

委員会は、平成27年10月1日の幹事会で設立が承認されて以降、次のとおり4回の審議を行った。

第1回 平成27年10月13日

議題： スケジュール、拠出者へのアンケート調査等

第2回 平成28年1月21日

議題： アンケートの回答概要、論点整理

第3回 平成28年2月24日

議題： 答申案の検討

第4回 平成28年3月18日

議題： 答申の決定

(3) 会員に対するアンケート調査等

委員会は、審議に当たり、基金の活用について会員の意見を伺う必要があるとの考えから、基金拠出者にアンケート調査を行うとともに、ホームページを通じ広く会員から意見を求めた。

# やまびこ句会

## 96歳岡清助さんが会員に

やまびこ句会で俳句の勉強を始めてから4年がたちました。本来であればかなり立派な句を詠んでいるものと思われませんが、残念ながら普段の努力が足りず、今もつて季語を二つ使ったり、季語の説明をしてしまったり初歩的なミスをお犯しております。私の場合、詠む分野は地理・生活が多く、次

む分野は地理・生活が多く、次  
時候・天文といったところ。動詞  
が多くなりがちな生活句は焦点が  
ボケやすく注意しております。

## 赤松小三郎研究会の活動

### 「なまくら」上映会や講演

赤松小三郎研究会は2013年8月  
発足以来偶数月の第3火曜日に集まり  
毎回参加者が自発的に赤松小三郎に関  
連するテーマを決めて発表していま  
す。また通常の例会に代えて年に1、  
2回外部講師を招いての講演会も行っ  
ています。(詳細は、関東同窓会ホー  
ムページの「赤松小三郎研究会」でご  
覧ください)

この句会では上  
田の話が通じる  
ので楽しいそう  
です。現在96歳  
句歴30年。つえ  
をつき、都バス、  
地下鉄を乗り継  
いで会場へお見  
えになります。  
お声も若々しく  
しっかりされて  
おられます。

遠足の砥石城  
址で戦史きく  
(清助)

室賀太郎(62  
期)

○第14回(2015・10・20)  
岡田渉さん(64期)による「横須賀  
の防衛大学情報図書館に所蔵されてい  
る赤松小三郎の完訳本『重訂英国歩兵  
練法』(赤本)とその英文原書の調査  
報告」。同図書館によるとこの英文原  
書は赤松から坂本龍馬の手に渡ったも  
のとのこと。

○第15回(12・15)  
映画「なまくら NAMAKURA  
〜京在日記秘録〜」の上映会。赤松小  
三郎暗殺の背景を多角的に考える良い  
機会となった。

○第16回(2016・2・16)  
①石川浩さん(特別会員)による「重  
訂英国歩兵練法(赤本)と英国歩兵練  
法(青本)の保存(施設)について」  
の発表②滝澤進さん(61期)による「赤  
松小三郎と佐久間象山」の発表。政治  
に及ぼした影響での比較では、赤  
松は松平春嶽・島津久光への建白、  
西郷隆盛らへの幕薩一和を働きか  
け、「英国歩兵練法」の翻訳等を  
通じてわが国兵制の近代化に貢献  
するとともに、山本覚馬らを通じ  
て明治政府の施策や京都市政の発  
展に大きく貢献した。一方佐久間  
は真田幸貫、徳川慶喜のブレイク  
として幕末のわが国の対外政策や  
政治に大きな影響力を及ぼすこと  
もに、吉田松陰、勝海舟ら門人を  
通じて幕末・明治に大きな影響力  
を及ぼした。

(赤松小三郎研究会事務局)

やまびこ句会 (10月〜3月)

古稀といふ言葉の重み去年今年 (一江)  
初電話郷里に同期の生き残り (清助)  
人も陽も家路急がぬ春日暮 (奉男)  
初場所や墨田の川に寄せ太鼓 (正佳)  
年忘れ稚児もひとりに数へけり (貴美)  
夕時雨眼こらして鳴り咲 (太郎)  
ミモザ咲く港の街の異人館 (隆治)  
鳴き交わすふくら雀や校舎跡 (正雄)  
見上ぐれば樺大樹に破れ風 (平六)  
駅弁に発車のベルや雪しまく (前歩)  
苔まとふ水掛不動や冬に入る (孝昭)  
轆轤挽く櫓かほれり冬日向 (芙紗)

この句会では上  
田の話が通じる  
ので楽しいそう  
です。現在96歳  
句歴30年。つえ  
をつき、都バス、  
地下鉄を乗り継  
いで会場へお見  
えになります。  
お声も若々しく  
しっかりされて  
おられます。

遠足の砥石城  
址で戦史きく  
(清助)

室賀太郎(62  
期)

○第14回(2015・10・20)  
岡田渉さん(64期)による「横須賀  
の防衛大学情報図書館に所蔵されてい  
る赤松小三郎の完訳本『重訂英国歩兵  
練法』(赤本)とその英文原書の調査  
報告」。同図書館によるとこの英文原  
書は赤松から坂本龍馬の手に渡ったも  
のとのこと。

○第15回(12・15)  
映画「なまくら NAMAKURA  
〜京在日記秘録〜」の上映会。赤松小  
三郎暗殺の背景を多角的に考える良い  
機会となった。

○第16回(2016・2・16)  
①石川浩さん(特別会員)による「重  
訂英国歩兵練法(赤本)と英国歩兵練  
法(青本)の保存(施設)について」  
の発表②滝澤進さん(61期)による「赤  
松小三郎と佐久間象山」の発表。政治



「なまくら」上映後の制作者とのトークショー

# アクト法律事務所

〒107-0052  
東京都港区赤坂3丁目9番18号  
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階  
TEL: 03-5570-5671 (代表)  
FAX: 03-5570-5674  
【最寄りの交通機関】  
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士 (所長) 岩井重一 (62期)  
安田隆彦  
弁護士 平澤慎一  
波戸岡光太  
黒澤真志



# 春のゴルフコンペに34人

## 優勝は清水龍夫さん（69期）

第25回関東同窓会春のゴルフコンペは4月7日(木)泉カントリー倶楽部(千葉県印西市)で55期から69期までの同好会メンバー34人が参加して開催された。

当日はあいにくの強い雨のため前半9ホールだけで中止、ハーフスコアでのコンペとなった。

個人戦の優勝は清水龍夫さん(69期) グロス52、ネット35・5  
▽準優勝は滝沢鉄夫さん(63期) グロス42、ネット36・0▽第3位は矢ヶ崎智さん(64期) グロス49、ネット37・0▽ベストグロスは滝沢鉄夫さん(63期)が獲得した。4チームが参戦した期別對抗戦は69期が優勝を勝ち取った。表彰式兼親睦パーティーでは、今回初めて参加の大工原信義さん(62期)のあいさつをはじめ、ただ1人皆勤参加の宮島光男さん(55期)のスピーチもあり、なかなか雰囲気うちに終了した。次回第26回コンペは11月11日(金)泉カントリー倶楽部(千葉県印西市)で開催の予定。

関東同窓会ゴルフ同好会ではコ



あいにくの雨で9ホールで終了、表彰式を終えて

# リコーダー四重奏楽しむ

## 9回目の女性同窓会

3月6日(日)神楽坂の日本出版クラブ会館で通算9回目となる女性同窓会を開催しました。参加者は52期から81期までの27人、初参加もありました。

第1部は、64期の山浦ひろみさんと3人の仲間によるレクチャー付きのリコーダーコンサートで、珍しいリコーダーの四重奏を楽しみました。ピバルディ作曲「四季」の「春」を皮切りに15世紀から20世紀まで、シューベルトはじめ3人の作曲家の「野薔薇」やおなじみの映画音楽などを10曲、最後は全員で「星に願いを」を英語の歌詞で歌いました。木のぬくもりさえ感じられる柔らかな音色に優しい時間が流れました。

第2部は会食で、お弁当を食しながら、一人一人のスピーチに耳を傾けました。たつぷりのお話は下世話な話題など一つもなくて、参加者の皆さんが充実した前向きな日々を過ごし、多彩な分野で活躍されている様子が伝わるものでした。皆さんが爽やかな良い顔をされています。



楽しい和やかな時間は瞬間にたつてお開きとなりましたが「参加してよかった」と思っていただけでよかったです。この会が単に「懐かしい会」、「新たな出会の会」であることにとどまらず、「心置きなく話せる場」であり、「刺激をもらえる場」でもあることを改めて感じました。次回も楽しい企画をして誘いたいと思います。

(69期 池田有美子)

**新たな教育システムの創造 松実学園グループ**  
 初等部・中等部・高等部  
 現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園  
 (社) ISM 教育総合研究所  
 全国の児童・生徒が自転車事故の加害者となった場合の「こころの保険」

まつみこうとうがくえん  
**松実高等学園**  
 本校 埼玉県春日部市中央1-55-15  
<http://www.matsumi-gakuen.net>

理事長 松井 石根 (60期) 学園長 松井 寛

## 上田ゆかりの偉人

上田城保存に貢献した  
丸山平八郎（直養・直義）

## 成田邦夫（56期）

大河ドラマ『真田丸』の舞台として上田城跡公園は大にぎわいだ。わが実家はそこから数分の所にあり、子供の頃は遊び場だった。だが明治維新後、ここが民間に払い下げられた危機に、私財を投じて公園として維持するよう努めた商人、丸山平八郎家のことはあまり知られておらず、この機会に紹介したい。

## ▼本丸一帯を守った直養

上田城は維新後の1874（明治7）年、政府の指示により残存していた3櫓のうち西櫓1棟などを残し約3万6千坪が旧藩士らに払い下げられた。土地が切り売りされそうになった時、本丸付近を一括して買い取り保存したのが当時材木商の第11代丸山平八郎直養（なほよ）だった。【明治9年没】

丸山家は、関ヶ原で西軍にくみした高尾三郎某という武士が上田に敗走、丸山と名を変えて町人となり木曾産木材で商いを始めたのが始祖と伝えられる。その後、財

をなした丸山家は天保年間には松平藩御用達となつて藩の金融にも関わり、やがて生糸、蚕種の輸出にも手を広げた。当時幕府老中を勤め開国派の藩主松平忠固の影響があつたことは十分うなずける。それにしても動乱期の明治初期に城跡一帯を莫大の資金を投じて保存に努めたのは勇断だったといえよう。

丸山家を起こした高尾三郎は真田家（軍）に関わりがあつたことが当時の状況から十分察せられる。築城時家康が援助し、家康に

より破壊された上田城が結局真田に縁のある丸山家に救われるとはまさに「歴史の妙」といえないだろうか。

## ▼遊園地条件に寄贈した直義

丸山家12代を継いだのは、上田領稲荷山の小出八郎右衛門の次男・門之助平三郎で、直養の長女やすの婿となり直義を名乗る。【1846（弘化3）年】1901（明治34）年

父直養の遺志を守り、明治12年に松平神社（現真田神社）の敷地、同22―26年には本丸付近を含む敷地を上田藩最後の藩主だった松平忠礼に無償譲渡し、その後上田市へと寄付された。総面積9千坪余の土地は、松平神社と付属遊園地として利用すること、これに違背

して遊園地以外に用いたり、他に売却したりする場合はすべて丸山

家に返還することが絶対条件とされたという。その後この条件付きのまま上田市に引き継がれ現在に至っている。

## ▼丸山家に伝わるエピソード

明治2年8月、困窮した農民らによる上田騒動が起き打ちこわしが続いた。丸山家にも暴徒が押し入り、道具や着物など家具家財を同家裏の矢出沢川に投げ捨てた。直義の妻やす（当時19歳）は川に入り家財を拾い集めたが、それがもとで女兒を流産したうえ死亡してしまう。直義は若妻と娘を亡くした償いにこの条件を思いついたという話が丸山家に伝わっている。この遊園地で亡き若妻が赤子と遊ぶことを夢見ていたに違いない。

現在、丸山家は瑛一さん（51期）が15代当主を継いでいる。北国街道沿いの同家の一隅にある蔵は今5月まで、上田出身の幕末の志士、赤松小三郎記念館として一般公開されていた。

（注）本稿は丸山瑛一氏、旧上

田藩士子孫伊藤祐一氏（28期）から提供された資料、談話および上田城資料調査報告書（上田市教育委員会版）などを参考にした。



前列は11代直養（右）と妻ふね  
後列は12代直義と妻やす

撮影時期：1867（慶応3）～1868（明治元）年  
丸山瑛一氏提供

あかし  
「不登校」も成長の証。

「不登校」も成長の過程のひとつ。

私たちはそう捉えて、生徒たちを応援しています。

一人ひとりをもつ個性を大切に、

柔軟な教育スタイルと丁寧なフォローで

生徒を笑顔に導いています。

【4つのコース】

進学コース、マンガ・アニメコース  
声優・タレントコース、ペット・アニマルコース



＜最近の合格実績＞【国立】東京大・京都大・筑波大（医）  
東京工業大・東京外語大・千葉大・新潟大・信州大ほか多数  
【私立】早稲田大・慶應大・上智大・国際基督教大・東邦大（医）  
杏林大（医）・東海大（医）・帝京大（医）・明治大・法政大・  
青山学院大・中央大・北里大・多摩美大ほか多数

学校法人上田燧燻学園

さくら国際高等学校 東京校

（旧東京国際学園高等部）

東京都渋谷区代々木 1-43-8

Tel 03-3370-0718

http://www.tokyo.sakura-kokusai.ed.jp

理事長・学園長 荒井 裕司（64期）





# 矢島渚男さん (51期) に蛇笏賞

## 句集「冬青集」

俳人として知られる矢島渚男 (本名・薫) さん (51期) の句集「冬青集」(ふらんす堂) が、第50回蛇笏賞(角川文化振興財団主催)に決まった。

矢島さんは上田松尾高校から九段高校を経て東大文学部を卒業。

石田波郷に師事、波郷没後は加藤楸邨に師事した。この間歴史の教師として母校でも教壇に立った。

「冬青」はモチノキ科の常緑樹で和名はソヨゴ。出版を前に傘寿を迎えたことを喜び、冬でも青いという意味から、第9句集のタイトルにしたという。「人生の冬だからね」

蛇笏賞は俳人飯田蛇笏にちなんで設けられ前年に刊行された句集の中で最も優れたものに与えられる。俳句界では最も権威ある賞と



矢島渚男氏

話す。第8句集の「百済野」では芸術選奨奨励賞を受賞した。俳誌「梟」主宰。

されている。2007年から8年間に詠んだ句を収めた。「家族や仲間が喜んでくれてうれしい」と

## 建白七策のレプリカ初公開

### 上田・赤松小三郎記念館

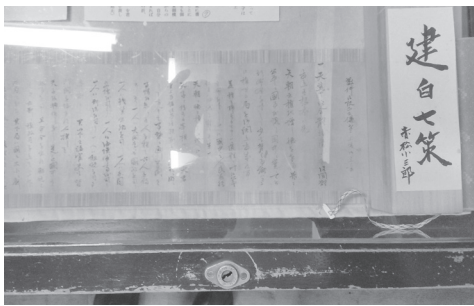
幕末に暗殺されてしまった赤松小三郎は、歴史学者の間で、越前年の松平春嶽に「御改正之一二端奉を説明して展示ができるように依頼したが、大河ドラマ「真田丸」

知られている。これは春嶽の政治活動記録『続再夢紀事』に転載の形に収録されているが、オリジナル文書は不明のままだった。

関東同窓会のなかに3年前に発足した赤松小三郎研究会が熱心な調査の末に、薩摩の島津久光関係の古文書を保管している鹿児島歴史センター・黎明館にこの原文、通称「建白七策」が保存されていることを突き止めた。ここで、この原文のレプリカ(写真複製)をお願いしたいと打診した。だが、黎明館は「当館が所有しているのではなく、久光の子孫から委託されている文書なので所有者の許可がないと対応できません」という

話す。第8句集の「百済野」では芸術選奨奨励賞を受賞した。俳誌「梟」主宰。

贈呈式は6月22日、東京都千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで。



建白書複製(赤松小三郎記念館)原資料は鹿児島県歴史史料センター黎明館蔵

ところ、顕彰会が黎明館に依頼してみると、顕彰会が黎明館に依頼してあるという結論になった。これが功を奏してようやく4月から赤松小三郎記念館(5月15日に上田市常磐城の丸山邸から上田城跡公園の上田招魂社内に移転)で初公開された。冒頭が「数件御改正之儀」と、春嶽宛ての文書と違っているものの内容は同じなので、久光宛てに出した文書だと判断できる。墨痕鮮やかで、知性と強い意志を感じる文書である。ぜひ、一度実物を見てほしい。

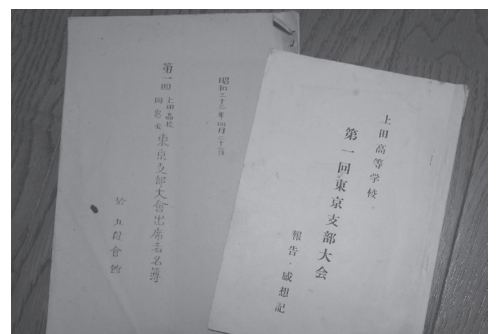
宮原安春(58期)

### 第1回東京支部大会の資料 岡清助さん(37期)宅に

上田高校関東同窓会の前身である上田高校同窓会東京支部の第1回大会当時の記録が岡清助さん(37期)の自宅に残っており、このほど幹部会で紹介された。

1958(昭和33)年4月22日、九段会館で開かれた第1回支部大会参加者名簿と同年6月に発行された支部大会の「報告・感想記」。

名簿は大会役員21人と上田からの同窓会会長や学校長ら出席者8人の名前が記されている。会場全員で歌うためだろうか楽譜付きの応援歌3曲と寮歌のほか校歌、



東京支部大会報告記(右)と出席者名簿

凱歌、「信州男子」「信濃の国」の歌詞も並ぶ。

末尾には5期から56期までの約280人の出席者の名前がある。「報告記」は30ページ。57年11月、新宿区の日本出版クラブ会館で各期代表者64人や校長先生ら計67人が参加した大規模な打ち合わせ会で大会の日程や会場、会費などが決められたことが報告されている。大会の会費は500円だった。

司法書士事務所  
リーガルオフィス白金  
司法書士 飯田 茂幸(90期)

〒108-0072 東京都港区白金1-25-13  
TEL 03-62277134  
FAX 03-62277106

## 異文化に学び

## 日本文化を再発見する

磯野 (武重) 玲子 (69期)

オレゴンに住んで40年たつが、をうまく表現してくれた、と感謝よく聞かれる質問がある。アメリカに渡った動機・目的は何か、という一言では答えにくい質問。でも、あえて一言でいうと、異文化の多様な価値観を持った人々に接し、自分の価値観のものさしを大きくしたかったから、ということであろう。異文化間のコミュニケーションを専攻したので、アメリカ人の中でも移民や家庭環境などによって考え方に驚くほどの違いがあることが分かり、興味深い日々の積み重ねだった。こうして、アメリカ人の素晴らしいところを学ぶとともに、外から日本を見ることもでき、改めて日本文化の良さを再認識した。

英語を学び、マスターしていく過程で、自分の知的レベルと語学力の差にもどかしさを覚える時期がある。その経験を地方のテレビ番組でスピーチした際、数人のアメリカ人が、外国人学生の苦労がよく分かったよ、新しいことを学んだ、とかコメントしてくれた。同じ立場の外国人学生たちからも、よくぞ自分たちの精神的苦勞



ポートランド市内を流れるウィラメット川のほとりで

で決めた家風とのこと。日本でも親子の愛情は変わらないが、このように言う人は少ない。お互いに分かっていることは言わなくても通じると思っている口に出さないのが日本人。分かっているが大切なことは口に出すのがアメリカ人。大切な人に大切な言葉を言えるのは、すてきだ。

昨日、日本独自の風景や文化、気質に触れたいと日本へ来る海外旅行者の急増はともうれしい。これは、日本人自身が、古くから守ってきた文化の貴重さに気づき、誇りに思っただけにすぎない。これまでも愛読いただき、ありがとうございます。

## 東海道53次の旅 (6)

## 藤枝から三島

清水計枝 (64期)

2015年10月31日、藤枝駅に集まり、岡部宿へ。宿場入口に松並木が残る。旧家が残る宿場を歩く。本陣は門と土蔵を残し、公園に。大旅籠柏屋は歴史資料館になっている。

急な坂道を上り、間の宿・宇津ノ谷を経て丸子宿にたどり着く。広重の浮世絵にも描かれた、わらぶき屋根の丁字屋で名物・とろろ汁定食を食べた。

安倍川を渡り、府中宿へ。大道芸のイベントで街じゅう人であふれている。翌日、府中宿を巡り、駿府城跡と久能山東照宮を見学。

11月26日、静岡駅から江尻宿から蒲原宿へ。国道が旧東海道を



富士山を背に薩埵峠で

迂回したため、江戸期の建物が残り、往時の面影が残っている。

急流の富士川を渡り、吉原宿へ。元旅籠の旅籠に泊る。

翌日、富士山を見ながら原宿へ。白隠禅師の史跡がある。海岸沿いに松林が続く道を歩き沼津宿へ。松林の中にある乗蓮寺には若山牧水の墓がある。「聞きあつた楽しくもあるか松風のいまはゆめともうつとも聞ゆ 牧水」

沼津城跡、三枚橋一里塚、伏見一里塚を過ぎ、ようやく三島宿にたどり着く。三島大社に参拝して、これからの旅の無事を祈った。



## マレーシア3泊4日

### 62期旅行会

62期生の旅行会、今回はマレーシア3泊4日(11月20日～24日)の旅で、西海岸の3都市の歴史・文化を巡る。

冬越えて 熱帯雨林

マレーの地

成田から6時間でクアラルンプール(KL)国際空港に到着。東京・銀座のようなエリアにあるホテルに滞在した。

次の日、バスで北へ200<sup>キロ</sup>、第3の都市イポーへ向かう。車窓にはヤシ林が続ぎ、タイから連なる熱帯の山並みも遠く見える。

この国の経済発展は近年著し



マラッカのオランダ広場で(11月22日)

いが、まだまだヤシ油の生産が基幹産業だという。イポーはスズ鉱業で発展し、中華系の人も多く静かでのんびりとした街のたたずまい。「古城」のような富豪・ケリーの旧宅や長寿のシンボル亀のいる洞窟寺院などを見て、イギリス風の建物が並ぶ旧市街のなか白亜の駅に到着。KLセントラル駅行きの急行に乗る。

3日目、KLから南に200<sup>キロ</sup>のマラッカ。欧州列強の支配が続ぎ、その吸引で華人たちも多く移り住んだ。チャイナタウンからオランダ広場をしばらく歩き、セントポールの丘で海峽を眺めた。住みついた民族は時に摩擦を起こしつつ多様性を認め合い独特の社会を築いてきた。

首都KLでは「近代」を見る。黄色の旗が翻る宮殿、国王は連邦国家のシンボル。ハイビスカスの生垣を通って10年に及んだ内戦の記念碑や国立モスクを見学した。

異なった民族が言語・文化・宗教を尊重し国家として発展していく姿を見ることができた。

合津武雄(62期)

## 「今だから言える話」も

### 99期が2回目の同期会

1月2日(土)、上田の東急REIホテルで99期の6年ぶり2回目の同期会が、当時の生徒会長中嶋豪君(3組)の音頭で開催されました。

集まった同期は74人、7人の担任の先生方も駆け付けてくださいました。残念ながら都合がつかなかったとの返信はがきには、第2子、第3子の子育てに奮闘中という近況報告も多く、人生の新しいステージを迎えている同期が多いことを実感しました。

塩沢勝吾君(5組)の乾杯に始まり、先生方にあいさつを頂き「同期の皆に胸を張ってまた再会できるような頑張りたい」という滝沢銀次郎君(5組)の締め言葉で閉会となりました。昔話や近況報告に話は尽きず、3次会まで先生が参加してくださるといふ大盛会となりました。

職員会でたびたび批判を受けながらも大学入試結果偏重の高校の教育方針に異議を唱え、僕らの個性を育てようと奮闘してくださいましたという、今だからこその話も伺うことができました。生徒が自分の才能を発揮できるよう環境

を整えてくださった先生方の尽力が、現在方々で活躍している99期卒業生の土台となったであろうことが想像でき、今更ながら大きな感謝の念を覚えませんでした。先生方の想いを裏切ることのないよう、また自分も同期に刺激を与えられる一人となれるよう、日々精いっぱい歩んでいこうと気持ちを新たにしました。

矢島好太郎(99期)



eclat

税理士法人 エクラコンサルティング  
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町4-1

ニューオータニガーデンコート8階

TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801

http://www.eclat-c.com/

## 新千代田綜合法律事務所

日本弁護士連合会前会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号

岩波書店アネックス8階 〒101-0051

電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361

http://www.shin-chiyoda.jp/

# 真田時代の上田城の一考察 織豊系の瓦、多数出土

## 倉澤正幸 (72期)

真田時代の上田城の様相については、関ヶ原合戦後、徳川方に徹底的に破却され、また当時の明確な史料・絵図が伝存しないため不明な点が多い。本稿では残存する遺構・遺物を手掛かりに、当時の上田城の状況を検討してみたい。

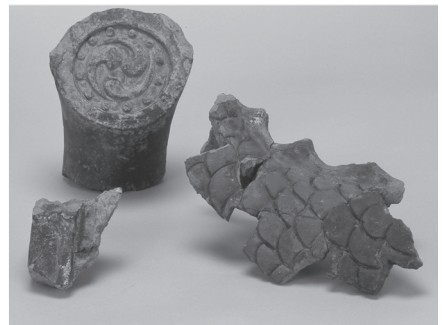
1583(天正11)年4月の上田城築城は真田昌幸が中心となり、千曲川の段丘地形・河川など要害地形を生かして築城された。当時の上田城の状況は他の東国の諸城と同様に、堀切・土塁・柵・掘立柱建物・物見櫓<sup>やぐら</sup>程度の施設を備えた戦国期の城と推定される。

1990、91年の市教育委員会の本丸堀の発掘調査で、堀の南西部から菊花文軒丸瓦、五七桐文鬼瓦など多量の瓦が出土し、北西部からも鱗<sup>うろこ</sup>をへら描きした金箔<sup>きんぱく</sup>鯨瓦<sup>しんがわ</sup>など、遺物が多数出土した。これらの瓦類はその形状・製作技法から真田時代の瓦類と考えられた。

特に金箔瓦は、織田信長の安土城や豊臣秀吉の伏見城・大坂城な

ど「織豊系城郭」に特徴的な瓦であり、その製作技法の特徴から慶長年間初期の1596年から関ヶ原合戦の1600(慶長5)年までに製作された瓦類と考えられる。

1590(天正18)年、信濃には秀吉配下の大名が置かれ、慶長年間初期には松本城・小諸城の織豊系城郭が完成した。1594(文禄3)年、真田父子は京都伏見城普請に動員され、高石垣積み・瓦ぶき建物の最新の築城技術を習



上田城跡出土金箔瓦

上田市立博物館蔵

体育館がある小泉曲輪西方の空堀から金箔鯨瓦が出土した。このため真田時代に金箔瓦を屋根に付いた二層程度の櫓がこの付近に存在したと考えられる。

また本丸北西部付近には、金箔鯨瓦を屋根大棟に載せた三層程度の望楼型天守があった可能性が考えられる。このように慶長初期には広大な上田城が再整備され、慶長5年の第2次上田合戦には徳川3万8千の大軍を迎え、撃退した。なお、詳細については、拙稿「真田氏時代における織豊系城郭上田城の再検討」『信濃』67-9(2015年・信濃史学会)をご参照いただければ幸いです。

(上田市立博物館長)

### 上田城跡へどうぞ

今年1月からのNHK大河ドラマ「真田丸」放送に伴い、現在上田市には、多くの真田ファンや観光客が訪れています。

上田城跡公園内にある上田市立博物館では、真田氏関連特別企画展(第1期〜4期)を開催しています。公園内の旧市民会館を改修、信州上田真田丸大河ドラマ館として開館し、既に来館者が20万人を超えるなど好評を得ています。帰省の際には、ぜひ上田城跡にお

立ち寄りください。

#### ◆上田市立博物館

真田氏関連特別企画展 第2期 「上田城築城と第一次上田合戦」

【展示内容】 真田昌幸が武田家滅亡後、列強の狭間にあって知略を尽くして領国を守り、上田城築城に至った経過や時代背景、徳川との合戦で巧みな戦略により勝利した第一次上田合戦を映像や関連資料などにより紹介します。

【会期】 3月31日(木)〜6月28日(火)

【休館日】 12月28日(水)まで

無休

【お問い合わせ】 上田市立博物館(上田市二の丸3-3) 0268-22-1274

#### ◆上田城櫓・櫓門

真田昌幸が築城した上田城は、関ヶ原の合戦後徹底的に破却されました。現存する上田城の櫓3棟は、寛永3年に仙石忠政が復興したもので、長野県宝に指定されています。南北の櫓は、明治維新後民間へ売却されましたが、

1949(昭和24)年に移築・再建されました。西櫓は、移築さ

れることなく現在まで残っている唯一の建物で、日ごろは公開していませんが、「真田丸」に合わせて、現在特別公開しています。

【お問い合わせ】 上田市立博物館

◆信州上田真田丸大河ドラマ館  
【会期】 2016年1月17日(日)〜17年1月15日(日)  
【お問い合わせ】 上田市シティプロモーション推進室 0268-75-2554  
上田市立博物館館長補佐 山崎敦子(85期)

## 和尾亭正味

〒106-0004 東京都港区新橋2-9-7 I.S.Bldg2-2階

Tel: 03-6205-7567

新橋駅徒歩1分、SL広場前

亭主 尾和正登 (85期)





# 意気軒高の母校

## 今年もよろしくお願ひします

### 学校長 内堀繁利

着任2年目を迎え、関東同窓会の皆さまには、1年間本当にお世話になったなあというのが実感です。

入学式、卒業式、会員大会、社会講座等々、高梨会長をはじめ皆さんに上田までお越しいただきました。総会では、室内楽班の生徒たちによくしていただき、カンパもいただきました。講演会講師のNHK大河ドラマ『真田丸』の屋敷チーフ・プロデューサーとの縁もあつてか、なんと初回放送の「真田丸紀行」で古城の門と校歌が取り上げられました。今年9月に初めて2年生全員が出かける1泊2日の首都圏フィールドワークに關しても既にご支援をいただいています。これ以外にも皆さんにはさまざまな折に大変お世話になり、衷心よりお礼を申し上げます。

さて、

本校長本年度も、4月6日の入学式で新



学式で新

入生となった全日制324人、定

時制27人が、例年より早い満開の桜とともに記念写真に納まりま

したが、式辞では、こんな人になっ

てほしいと話しました。

自分を大切に、自分の幸福を

追求するとともに、自分以外の人

たちの幸福を願ひ、そのために尽

力できる人。常識や前例を批判的

に見る目を持ち、正しい根拠に基

づいて、自分の頭で考え、判断し、

自分の意志で行動し、その責任を

自分で取れる人。強い想いや高い

志を持ち、それを借り物でない自

分の言葉で語り、仲間とともに力

タチにできる人。地元や地域と同

様にグローバルな視野を

持ち、新しい時代にふさ

わしい新しい価値や未来

を創造できる人。

本校では、こういう人

たちが巣立つための教育

をしたいと考えており、

着実に成果が出つつある

スーパーグローバルハイ

スクールもこの路線上に

## 上田高校 NOW

スクールもこの路線上に

あります。

母校は元気です。「真田丸」の年です、ぜひ上田と上田高校にお越しください。歓迎いたします。

最後に、お願いばかりで恐縮ですが、多大のご支援をいただいている同窓会本会・関東同窓会の会費納入

へのご協力と、長野県への「ふるさと信州寄付金」(ふるさと納税)で「その他希望」欄に「上田高校の教育の充実のため」とお書きいただくことによる本校への支援をお願い申し上げます。

## 上田市高校生議会開かれる

### 母校から4人が参加

2月4日、上田市高校生議会が開催されました。これは、生徒が意見を発表できる場を設けて街づくりの参画を促し、市政に参画した喜びを感じられる場とするともに、投票年齢18歳への引き下げによる啓発および若年層への投票率向上を図ることを目的として、上田・東御にある高校8校から代表生徒30人が参加し行われました。

上田高校からは生徒会役員を中心に4人が参加し、そのうち1人は立候補して高校生議会の議長を務めました。ほか3人は高校生議員として上田市総合計画に目を通し、その中から学校教育に關して「英語教育について」「教育推進に伴う学校・授業評価について」「意見の発表について」質問しました。

議会当日、議場の机には高校生

議員それぞれの名前の書かれた札が用意され、議場への入り方から全てが実際の議会と同じ形であり、「〇〇議員」と呼ばれることで一層緊張感が高まりました。普段入ることのない議会議室で、市長をはじめ大勢の行政の方を前にして堂々と意見を伝え、また議長として立派に議事を進行していく高校生議員たちの姿が非常に頼もしく見えました。参加した生徒がこれをきっかけに上田市の現在の状況、将来について真剣に考え、学ぶことができ、非常によい機会となりました。今後、正しく物事を判断できる幅広い知識や洞察力を養い、将来はこの上田市をさらに活性化させるように活躍していただくことを期待します。

生徒会係 高校生議会担当

山岡 翠



高校生議会の参加者 (上田市役所の市議会議場)



## 祝！第55回総会

### 79期

今年は79期が実行委員の当番期です。協力して総会・懇親会を盛り上げましょう。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

(有志一同)



# 歩み出す1・1・7期生

## 1年

4月6日、入学式が行われ、普通科324人が内堀繁利学校長から入学を許可されました。普通科1・1・7期生の誕生です。生徒代表の佐々木希実君は、先輩たちが築いてきた上田高校の伝統をしっかりと受け継いでいきたいと力強く宣誓し、入学式に花を添えました。入学式には、同窓会の日置勇二理事長をはじめ多くの来賓の方々の臨席をいただき、厳かな雰囲気の中、式を終えることができました。入学式翌日から、2日間

間にわたるオリエンテーションが行われました。ホームルーム、講演会、SGHの発表など緊張の連続のため、顔に疲れが見え始めました。しかし、2日目の午後、本校OBの清水洋幸氏を講師に招いて行ったエンカウンターでは、クラスの仲間と協力し合う活動やクラス間での競争を取り入れた活動などを通して、あちらこちらに笑顔が生まれました。生徒たちは、さまざまな工夫を取り入れた活動の中で、体を動かすことで緊張が取れ、仲間同士の中に絆の芽を作り始めていました。

## 上田高校 NOW

1・1・7期生は、これから上田高校生として3年間さまざまな経験をしていきますが、同窓会、PTAなど多くの方々のご支援や協力をいただき、大きく成長してほしいと願っています。

1学年主任 竹内光礼



上田城跡公園の桜の花の下で

## 2年



### 2年目に向けて

上田高校のSGHの一つの特徴は、選ばれた或いは希望した生徒だけが行うものではなく、生徒全員が取り組むところにあります。昨年度第1・1・6期生はSGHの一期生と



夏季フィールドワーク ポスターセッション (筑波大付属坂戸高校)

して、全員が新しい教科「SGH」の中のグローバルスタディ(GSI)を全員で学習しSGHに関わるさまざまなプログラムに参加してきました。

SGHがスタートする前、どうなるかなという心配もありましたが、杞憂に終わりました。いざ始まってみると、係の綿密な準備のもとで、生徒は思いのほかスムーズにSGHの学習の中に入っていくことができました。

SGHのプログラムでは、関心を持つ・調査研究をする・課題を発見して解決策を考え発信するという学習の流れがありますが、これは生徒の能動的な活動がなくては成り立たないものです。SGH

## 3年

### 試百難で 完全燃焼を！

Hの取り組みを行うことで、第1・1・6期生は大きく成長できたと思います。背景として、SGHの取り組みと教科学習の相乗作用があったのかもしれない。

新年度を迎え、生徒は気持ちも新たにGⅡの学習を始めました。生徒が能動的に学習し、大きく成長できることを願っています。

2学年主任 西嶋 力

第1・1・5期生は318人で最後の学校生活をスタートし、顔つきも最上級生らしくたくましくなってきました。最高学年としての自覚を持ち、班活や生徒会活動にも完全燃焼を目指し、班活終了後はスムーズに切り替え、自己の進路目標実現に向けてまい進してほしいというのが担任団の願いです。

昨年(11月)に学校生活の最大行事である沖繩修学旅行を実施しました。係を中心に事前学習や修学旅行新聞などを通じて、旅の目的と沖繩に行く意味をしっかりと考えさせることができましたが、生徒の自覚と主体的な行動を促し、かつ多くの体験を通して視野を広



始業式後の学年集会での進路講話

め、大きな成長へとつながったと思います。

生徒たちは、生徒会活動にも非常に意欲的に取り組んでいます。生徒会最大の行事である第59回松尾祭のテーマが「松尾 夏ノ陣」に決まりました。真田幸村のごとく、年に1度の対戦に挑んでいくというメッセージが込められています。

高校生活の中で最も密度の濃いこの1年、「試百難」の精神を貫き、生徒たちが自分の可能性を広げ、大きく成長してくれることを期待しています。

3学年主任 山崎 隆



## 上田高校 NOW

満開の桜の校門前で記念撮影

上田高校吹奏楽団木管四重奏は、平成27年度全日本アンサンブルコンテストにおいて、県大会金賞2位を受賞し、長野県代表として静岡県清水市で開かれた東海大会へ出場することができました。県代表のグループが発表された時、全国大会出場という目標へ一歩近づき、より気持ちが引き締まりました。

## 東海大会に出場 吹奏楽団木管四重奏

### 定時制1年 多様な生徒たち

満開の桜が咲き誇る中、挙行された入学式において、本年度は、男子19人、女子8人、合計27人が、上田高校定時制への入学を許可されました。男女比が約2対1と、男子が多いのが、今年の新入生の特徴といえるでしょう。

定時制のクラス内では、年齢や出身国なども多様な生徒たちが、一緒に高校生活を送っています。対面式での新入生代表のあいさつも、日本語と流ちょうな英語の2カ国語でこなすなど、定時制にも

SGHの片りんがかがえるようです。

入学後まだ間もないところですが、今年も含め、近年の上田高校定時制の生徒の様子は、いわゆる「やんちゃ」な生徒は少なく、中学校時代の不登校経験や経済的事情など、何らかの理由で全日制には通えないが、ぜひとも高校で勉強し卒業したいという、定時制本来の姿に近い生徒が多くなっているように見受けられます。班活や松尾祭を始めとする生徒会活動にも、積極的に参加する意欲的な生徒が増えています。

定時制1学年担任 風間 敏



平成27年度全日本アンサンブルコンテスト出場者 (清水市文化会館)

東海大会では平常心で練習の成果を発揮し、金賞5位を受賞することができました。全国大会への切符を手に入れることができずとも悔しかったですが、メンバー4人で工夫して練習を重ね、東海大会という大きなステージに立てたこと、金賞を頂けたことは、とても貴重な経験になりました。

3年生にとっては最後のコンクールでこの経験を生かし、全国大会出場という目標を達成できるように、さらに練習を重ねていきたいと思います。

3年 金井千紘

## 第237号を発刊

### 新聞班

新聞班は現在3年生2人、2年生4人で活動しています。4月には第237号を発刊しました。

終戦後の1948(昭和23)年、上田松尾高校新聞が初めて発刊されました。以後長きにわたり、上田高校の言論と表現の歴史を重ねてきた新聞班。過去、上田高校新聞は有料だったそうです。マスメディアがまだ質、量ともに充実していない時代でもあり上田高校新聞は重要な情報源であったのではないかと思われます。今日、インターネットの急速な発展に伴い欲しい情報が簡単に手に入りますが、自分にとって興味のない時事問題や話題を見落としがちになります。そのような情報こそが本当は大事であり、みんなと共有すべきものであります。私はそのような偏った情報の取得の在り方に非常に危惧を抱いています。

新聞を製作する上で最も重要なことが上田高校校史に記されています。「常に公正寛容な態度で報道してきた。指導的立場、責任観念と気品を保ち良識に基づく報道を心掛けた」。新聞班ではこ

の先人たちの教えを胸に刻み新聞発行を行っています。今年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放映に合わせた上田市の観光事業や、平成27年度文部科学省から指定されたSGH関連行事を、毎月特集しています。上田高校新聞の顔である「試百難」では時世を論じ、新たな特集紙面「今を駆け抜けろ」では各班の活動を紹介し、その栄光を称え、生徒に焦点を合わせて生徒目線で製作しています。

新聞班の活動にさらなるご支援とご鞭撻をお願いたします。

新聞班班長 3年 山浦菜緒

## 芝パーククリニック

日本人間ドック学会

「人間ドック健診施設機能評価」認定施設

〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1  
芝パークビルA館2階  
TEL 03-3434-4485 FAX 03-3434-4007  
<http://www.shibapark-clinic.jp>



# 安定した合格者数 国公立に143人

現役生、既卒生ともに、健  
 闘しました。本校生の潜在能力  
 の高さ、良い意味での伝統を  
 強く感じさせる結果でした。

国立大学に143人合格。  
 長野県内はもちろんのこと、全  
 国的レベルでも、大変安定した  
 合格者数を維持しています。

旧帝大の合格者は現浪合わ  
 せて32人だった。過去を振り返  
 っても、30人を超えた年は珍し  
 い。とりわけ、東北大学に17人

大阪大学に4人、そして東京大  
 学に3人と、例年になく多くの  
 生徒が合格しました。

国立大学の合格率に目を  
 移してみると、44.7%でした。  
 一つの目安としての数値として  
 考えると、ここ3年間は40%後

半を必ずキープしています。本  
 校の現役生の「合格力」が安定  
 してきていると言えます。

さらに特記すべき点は、医  
 学部・医学科に合格した生徒が  
 国立大学5人、私立大学4人  
 の合計9人だったことです。

「大学改革」、「大学入学者選  
 抜改革」、「グローバル人材育成」  
 「スーパーグローバル大学」、「国  
 立大学の三分化」といった言葉  
 に代表されるように、大学入試  
 を取り巻く環境は急速な勢いで  
 変化しています。

「不易流行」という言葉に例  
 えれば、「絶対に変わるものが  
 ない部分を忘れずに、新しく変  
 化を続けているものを取り入れ  
 ていく」という理念が生き続け  
 ているのが本校だと言えるので  
 はないでしょうか。「進路実績」  
 は、変わることなく、SGHと  
 して変化を遂げ続ける上田高校  
 でありたいと、進路係として常  
 日頃思うところがあります。

進路実績において、地域・  
 保護者、および同窓会の皆さま  
 から信頼される学校を目指しま  
 す。多様なニーズに対応できる  
 進路実現を目標に、ノブリーシ  
 ュ・オプリージユ精神で任務を  
 全うしていく所存です。よろし  
 くお願いします。

進路指導主事 小岩井秀樹

大学名	16年	15年	14年	大学名	16年	15年	14年	大学名	16年	15年	14年	大学名	16年	15年	14年	大学名	16年	15年	14年
国立大学				広島				私立大学				成城	5	4	5	明星			3
帯広畜産				島根		1	1	酪農学園			2	専修	8	7	17	立教	11	20	14
北海道	3	5	2	岡山	1			岩手医科	1			創価		2	1	早稲田	11	11	23
北海道教育		1		山口	1			東北医科薬科	3	4	1	大正	1		1	麻布		2	
弘前			2	徳島	1	1	1	常磐				大東文化	2	3	2	神奈川	6	3	9
岩手	1	1		高知	1			国際医療福祉	6	5	9	拓殖	1	1	1	神奈川工科		1	2
東北	17	9	12	九州			2	自治医科			2	玉川	3	2	4	関東学院		2	
秋田	2	2	2	福岡教育		1		獨協医科	1		1	多摩美術	2			フェリス女学院	1		1
山形	2	3	2	熊本				群馬医療福祉	1	2		中央	36	17	33	横浜薬科			1
福島	2			宮崎			1	群馬パース	2		3	津田塾	5	3	10	新潟医療福祉	2	1	1
茨城	2	1	4	鹿屋体育			1	上武	1	1	1	帝京	2	4	4	新潟薬科	2	2	4
筑波	3	2	6	鹿児島	1	2		高崎健康福祉	4	4	6	帝京科学				金沢医科		1	
宇都宮	2	3	3	琉球		2		埼玉医科	1	1	1	東海	2	3	4	金沢工業	4	1	3
群馬	4	4	7	国立大学計	182	166	187	城西	2		1	東京医科	1		1	北陸	1	2	7
埼玉	5	10	11	公立大学				女子栄養	1	1	3	東京医療保健			1	佐久	1	2	4
千葉	4	8	10	宮城		2		東京国際		2		東京音楽			1	諏訪東京理科	1	1	2
お茶の水女子		2	2	秋田県立				獨協	3	5	1	東京家政			3	長野			2
電気通信			2	群馬県立女子			3	日本薬科				東京経済	2	1	5	松本	1	1	1
東京	3	1	4	群馬県立県民健康科学		2		文教	8	11	15	東京工科	5		1	松本歯科		1	2
東京医科歯科		2		高崎経済	9	7	12	湘徳	1		1	東京工芸		1	2	岐阜医療科学		2	1
東京海洋	1	1	1	埼玉県立		1		聖徳		1		東京女子	1	2	3	岐阜聖徳学園		2	1
東京外国語	4		1	千葉県立保健医療				千葉工業	1	3	3	東京女子医科	1		1	愛知医科			3
東京学芸	2	2	3	首都大学東京	4	3	7	青山学院	13	10	8	東京造形	1			中京	3		1
東京工業		1	2	横浜市立	3	3	3	亜細亜	2		2	東京電機	3	8	1	豊田工業			1
東京農工	1	1	1	新潟県立	4	3	5	大妻女子	3	5	2	東京都市	3		6	名古屋外国語			1
一橋		3		新潟県立看護	2	1	1	桜美林	2	3		東京農業	10	9	5	南山	1		
横浜国立	7	3	6	長岡造形		1	1	学習院	4	3	4	東京福祉			1	名城	3	1	
上越教育	4	5	6	富山県立		1		北里	8	10	10	東京薬科	1	8	4	京都外国語	2	1	
長岡技術科学				石川県立	1	1		共立女子		1	1	東京理科	13	16	31	京都産業	1		11
新潟	6	9	14	福井県立		1		杏林	6	4	3	東邦	7	8	3	京都女子	4	2	2
富山	14	11	10	都留文科	4	2	5	慶應義塾	9	6	8	東洋	20	24	14	同志社	5	6	12
金沢	19	11	7	山梨県立		1		工学院	4	3	4	日本	25	24	32	同志社女子	1	1	2
福井		1	1	長野県看護	1			國學院	6	9	14	日本医科	1			佛教			2
山梨	3	3	2	岐阜県立看護		1		国際基督教	1		1	日本歯科		2		立命館	21	24	29
信州	44	40	41	岐阜薬科		2		国士館	1	1	1	日本社会事業				関西	4		1
静岡	6	2	4	静岡県立	2		3	駒澤	13	7	9	日本獣医生命科学	1			近畿	4	4	3
名古屋	3	4	5	静岡文化芸術	1	1		実践女子	5	2	1	日本女子	3	3	3	関西学院	6		2
名古屋工業	1			名古屋市立	1	1		芝浦工業	27	4	28	法政	27	29	40	福岡			1
愛知教育	1	1	2	滋賀県立		1		順天堂	4		3	星薬科	1	3		その他	98	17	13
三重	1	2		大阪市立				上智	5	1	5	武蔵	3	2	1	私立大学計	611	480	651
滋賀				神戸市外国語				昭和	1	2		武蔵野	4	2	4				
京都	2		1	兵庫県立		1		昭和女子		1	3	武蔵野美術	4						
京都工芸繊維	1	1		広島市立	1			昭和薬科	2	6		明治	39	29	59				
大阪	4		3	新見公立		1		白百合女子			1	明治学院	10	11	15				
大阪教育	1			公立大学計	33	32	46	成蹊	10	12	8	明治薬科	2	2	2				





# 2015年度会務報告案

(2015年4月1日～2016年3月31日)

## ▼第54回総会・懇親会

2015年6月27日に如水会館で開催し、272人が参加。NHK大河ドラマ「真田丸」チーフ・プロデューサー屋敷陽太郎氏による講演と母校室内楽班の演奏が行なわれた。室内楽班は2、3年生32人による迫力のある素晴らしいものであった。

## ▼新年会

2016年1月21日に日本教育会館で開催し、例年を上回る100人が参加。寺島志織さん(105期)のチェロ演奏と新明知美さんのピアノ演奏を堪能した。

## ▼常設委員会活動

IT推進委員会、若手会員対策実行委員会、学生会員の社会デビュー支援委員会、会員交流推進委員会、女性会員の会実行委員会、編集委員会、以上6委員会について具体的な活動を行った。

## ▼基金活用検討委員会

基金活用による同窓会活動の一層の活発化を図るため10月に「基金活用検討委員会」を立ち上げ、半年間の検討の後、4月の役員会・幹事会で答申を受けた。

## ▼会報

第90号を5月下旬に、第91号を12月下旬に発行。

## ▼年会費納入状況

2～3月に3年連続での年会費納入キャンペーンを実施したが、予算比99%、前年比98%となった。

## ▼寄付金と広告収入

広告収入は予算比99%、前年比87%となった。寄付金は予算比104%、前年比112%と協力を得た。充実した会報を継続するためにも特に寄付での支援をお願いしたい。

## ▼その他

母校の社会講座に講師を派遣、春・秋のゴルフコンペを実施、本部会員大会・各支部総会等に出席。

## 2016年度会務計画案

(2016年4月1日～2017年3月31日)

### ▼第55回総会・懇親会

6月25日(土)、如水会館で開催。実行委員最年長期69期を中心に企画運営。

### ▼新年会

2017年1月19日(木)に日本教育会館で開催。

### ▼委員会活動

同窓会活動充実・多様化と会員交流深化を支援。

### ▼会報発行 92号(5月)、93号(12月)。

### ▼ゴルフコンペ

春・秋(年2回)実施。

### ▼母校・本部などとの交流

母校社会講座への講師派遣、入学式・卒業式出席、本部会員大会・各支部総会への出席。

### ▼他団体との交流

長野県高校同窓会東京連合会の運営協力。

### ▼基金活用事業

- ・年会費納入促進活動(10期分)
- ・若手会員の同期会組織化支援(5期分)
- ・委員会活動補助(女性の会、赤松小三郎研究会講師お礼)
- ・総会・新年会の演奏会出演者へのお礼

## 2015年(平成27年)度決算案(2015年4月1日～2016年3月31日)

単位：円			
収入の部			
科目	予算	決算	差額
前期繰越金	2,618,825	2,618,825	0
大会会費収入	1,830,000	1,738,000	-92,000
会報広告料	1,100,000	980,000	-120,000
年会費収入	2,950,000	2,916,000	-34,000
会議費収入	675,000	673,000	-2,000
寄付金収入	650,000	676,360	26,360
雑収入	0	423,848	423,848
受取利息収入	0	346	346
(小計)	7,205,000	7,407,554	202,554
(合計)	9,823,825	10,026,379	202,554

支出の部			
科目	予算	決算	差額
大会費	2,205,000	1,937,003	-267,997
会報費	2,642,000	2,754,000	112,000
交通費	330,000	252,286	-77,714
通信費	100,000	93,460	-6,540
会議費	800,000	914,451	114,451
渉外費	240,000	224,236	-15,764
印刷費	50,000	68,976	18,976
事務費	800,000	820,188	20,188
雑費	300,000	446,954	146,954
委員会推進費	150,000	267,117	117,117
(小計)	7,617,000	7,778,671	161,671
次期繰越金	2,206,825	2,247,708	40,883
(合計)	9,823,825	10,026,379	202,554

## 2016年(平成28年)度予算案(2016年4月1日～2017年3月31日)

単位：円			
収入の部			
科目	28年度予算	27年度決算	増減
前期繰越金	2,247,708	2,618,825	-371,117
大会会費収入	1,746,000	1,738,000	8,000
会報広告料	1,000,000	980,000	20,000
年会費収入	3,000,000	2,916,000	84,000
会議費収入	673,000	673,000	0
寄付金収入	600,000	676,360	-76,360
雑収入	0	423,848	-423,848
受取利息収入	0	346	-346
基金より繰入	300,000		
(小計)	7,319,000	7,407,554	-88,554
(合計)	9,566,708	10,026,379	-459,671

支出の部			
科目	28年度予算	27年度決算	増減
大会費	1,835,000	1,937,003	-102,003
会報費	2,754,000	2,754,000	0
交通費	252,000	252,286	-286
通信費	200,000	93,460	106,540
会議費	914,000	914,451	-451
渉外費	224,000	224,236	-236
印刷費	60,000	68,976	-8,976
事務費	820,000	820,188	-188
雑費	80,000	446,954	-366,954
委員会推進費	180,000	267,117	-87,117
(小計)	7,319,000	7,778,671	-459,671
次期繰越金	2,247,708	2,247,708	0
(合計)	9,566,708	10,026,379	-459,671

## 運営基金(2015年度 決算案)

単位：円				
科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	10,500,000	0	0	10,500,000
同利息	800,755	866	0	801,621
合計	11,300,755	866	0	11,301,621

## 運営基金(2016年度 予算案)

単位：円				
科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	10,500,000	0	0	10,500,000
同利息	801,621	2,000	300,000	503,621
合計	11,301,621	2,000	300,000	11,003,621

## 一般会計・運営基金総括表

(2016. 3.31 現在)

単位：円			
科目	金額	科目	金額
定期預金	10,500,000	運営基金	11,301,621
普通預金(定期利息)	801,621		
郵便振替口座	567,233	次期繰越金	2,247,708
普通預金	1,630,268		
普通預金	50,207		
合計	13,549,329		13,549,329

定期預金/普通預金(定期利息) : みずほ銀行 兜町支店  
郵便振替口座 : 日本橋郵便局  
普通預金 : 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店  
普通預金 : 三菱東京UFJ銀行 日本橋中央支店



# 年会費納入者一覧 (2016年3月末現在)

- ▶年会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。一覧は2015年度以降の年会費を納入した方(1,363人)です。
- ▶名前の後の数字は、その年度分まで納入したことを示しています。(例:2016 = 2016年度・平成28年度分まで納入済み)
- ▶会報に同封の年会費の直近納入日、納入済み年度をご参照下さい。年度4月から満80歳を迎える期の会員は納入免除。
- ▶過年度分未納の方は、さかのぼって納入する必要はありません。納めていただいた時点からカウントいたします。

お問合わせ先：事務局（幹事長） 倉沢裕まで  
 TEL：090-3502-3646 E-mail：kurasawa\_hiroshi\_keyakidai@yahoo.co.jp

依田康徳	2015	山浦 武	2015	中村 勉	2019	内堀真通彦	2017	井上順允	2015	高松健治	2016	渡辺洋一	2029	【35期】	
渡辺武彦	2022	山寄逸雄	2017	成田邦夫	2018	荻原光夫	2017	大矢憲明	2017	滝澤 格	2015			石井 暢	2015
		横沢武久	2016	新沼博雄	2017	片岡恒夫	2017	荻原統夫	2016	武平正一	2015	【51期】		滝澤 正	2016
【59期】		渡辺孝幸	2019	松井広通	2015	川上博美	2015	大日方 真	2017	土屋義子	2017	荒井一男	2015		
饗場賢司	2015	渡辺静雄	2017	松瀬勝雄	2015	小村和幸	2016	河西秀夫	2019	中村茂之	2016	飯塚 壽	2015	【42期】	
阿部真之亮	2015			三井宣夫	2016	香掛勝利	2016	菊島和宣	2017	藤井清彦	2016	池田義雄	2018	岩下 實	2015
荒井理夫	2015	【58期】		宮坂 卓	2015	倉見英一	2018	久昌貴代江	2015	古川 一	2026	井出英三郎	2015	栗田裕夫	2019
有賀勝雄	2021	赤池三男	2018	宮島正和	2018	黒岩 了	2017	香掛文哉	2015	松崎義一	2017	上原隆雄	2018		
池内正直	2015	井沢 敬	2019	横島庄治	2018	小宮山忠彦	2016	倉島 彰	2016	水出康雄	2016	上原 昂	2015	【44-5期】	
池田周次	2019	伊東紀男	2017	柳澤安信	2016	小山治卓	2015	黒岩干鶴子	2018	宮島廣人	2015	内久根孝一	2017	甲田悌三	2015
池田研一	2015	伊東啓治	2018	山極卓也	2018	坂口宏明	2016	黒川次郎	2016	森 浩一	2016	太田幸男	2019	【44-4期】	
石塚洋一	2017	伊藤文明	2018	横沢敏雄	2016	坂口守夫	2015	呉 公一郎	2017	矢島寛文	2015	掛川國雄	2015	竹内彦彦	2023
井出政義	2017	大井秀三郎	2019	横島庄治	2015	清水 勇	2019	神津勝重	2018	柳沢 忠	2015	鎌野秀嗣	2015		
稲垣正雄	2015	大島仁士	2016	依田幸雄	2016	清水好昭	2018	小堺一雄	2017	山口直枝	2015	蒲生卓磨	2016	【45期】	
内久根克彦	2016	大日向寛敏	2016	若林克壽	2016	杉原積雄	2018	小菅健司	2015	若林英鋭	2016	倉沢直哉	2019	森 茂	2016
大日方勝利	2029	岡野富男	2015			滝沢克彦	2022	後藤人三	2018			黒川嘉郎	2016		
尾崎晴夫	2020	片岡春雄	2017	【57期】		滝沢哲三	2015	小林勝利	2023	【53期】		佐藤隆俊	2016	【46期】	
掛川勝司	2015	金子親碩	2018	青木周二	2019	田玉尚武	2016	小林干城	2015	阿久津義雄	2016	清水 勲	2015	出浦 仁	2017
木下嶺夫	2015	鎌原昭治	2020	有井 毅	2015	塚田忠夫	2018	齊藤智己	2015	安土忠男	2016	清水 順	2015	神林常規	2018
小林芳友	2017	北野啓司	2019	池田盛司	2017	土屋 務	2015	坂口 守	2020	飯島秀也	2015	滝澤英彦	2022	宮沢 寿	2022
小林賢一	2016	伊藤昌巳	2019	伊藤紘二	2017	土屋英明	2018	滋野三樹	2015	井澤 保	2016	竹内英晃	2018		
小林朋晃	2016	久保田達夫	2018	宇賀神一雄	2017	鶴見貞夫	2017	関 正勝	2019	井上真人	2017	土屋 章	2015	【47期】	
小林英男	2019	倉島義明	2018	白田茂二	2021	臣川晃夫	2015	滝沢義信	2017	岩崎 涉	2017	中澤良行	2015	片山治夫	2019
小林義典	2029	小池 晃	2016	榎本金二	2020	長峯道明	2019	滝澤隆夫	2018	大塚昌宏	2015	中島 宏	2022	笹井 博	2020
坂口茂夫	2016	神津 進	2020	大谷光弘	2016	長谷川善一	2018	竹内 節	2015	大塚敦夫	2016	中曾根 聡	2015	田守正雄	2019
櫻井資悦	2016	小島佳雄	2015	皆瀬 淳	2015	渡辺野 彰	2016	竹重節雄	2018	尾崎俊朗	2017	成澤誠司	2021	土屋 博	2020
重原正治	2015	小林和民	2016	加賀美欣二郎	2016	樋口宣明	2015	田中嘉親	2030	掛川多美雄	2016	保坂利勝	2017	三浦嘉治	2018
清水 和	2019	小林慶三	2018	神林英男	2017	間島 巖	2017	田村 朗	2019	懸川文夫	2017	堀内弘栄	2018	水野 純	2018
清水侯博	2018	小山 泰	2016	久保新一	2016	松尾 裕	2019	土屋勝俊	2018	柏村孝行	2021	丸山瑛一	2018		
関 和明	2019	小山捷二	2019	桑原恒雄	2018	久入健二郎	2015	土屋晃一	2018	小出 武	2015	丸山 弘	2015	【48期】	
関口勝子	2018	桜井兼三	2020	小島士郎	2017	宮島光男	2019	土屋重基	2018	小林忠夫	2016	村田 寛	2019	小林富士雄	2015
関根克郎	2016	桜井成樹	2017	小島吉男	2017	毛利義範	2017	寺島重暉	2017	小林乾泰	2018	母袋博一	2016	春原 寛	2016
関本桂子	2017	品川勇一	2017	小林 明	2020	柳沢郁政	2018	中島隆之	2015	小山哲雄	2017	望月伸泰	2021	吉村 功	2015
高野寛之	2015	城下 尚	2019	近藤郁雄	2018	和田 守	2021	中村一彦	2017	坂口茂廣	2017	角川克己	2015		
高橋謙夫	2016	関 有二	2015	近藤正輝	2018			中村忠勝	2018	櫻井功輝	2015	柳沢 純	2019	【49期】	
滝澤武朗	2015	高橋福幸	2016	清水康弘	2017	【56期】		成田崇宏	2017	塩野入 剛	2016	横島義之	2015	榎本秀雄	2020
武重昭蔵	2016	滝沢信夫	2017	白倉憲二	2015	赤尾信吉	2022	橋田ちせ	2024	杉浦醇一	2017	吉澤深二	2018	荻原 賢	2015
千野裕明	2018	手塚信康	2018	鈴木芳枝	2019	飯高盛龍	2018	花房伸吉	2016	須田武久	2016			小澤泰衛	2020
土屋晴彦	2016	手塚洋兵	2017	関 行裕	2018	上原清治	2017	馬場武彦	2017	高木快雄	2016	【52期】		久保利夫	2016
手塚博幸	2017	寺島知恵子	2018	高木佳年	2021	内海章緒	2027	馬場雄二	2017	武重賢治	2015	青木 功	2041	銭澤未治	2015
常盤秀夫	2016	寺島紘士	2018	武井和雄	2015	大久保治夫	2015	深町勝男	2016	塚田 靖	2021	赤池孝之	2016	堀内寅次	2018
西沢正浩	2016	中島秀忠	2017	竹内 昭	2018	大塚明彦	2019	藤田斎一	2017	寺西 孝	2016	飯島孝一	2016	牧内泰道	2018
萩原清人	2016	中島勇司	2017	滝沢健二郎	2017	岡田建治	2015	藤村延魚	2024	中島 均	2015	飯塚和男	2016	松本初男	2020
長谷川久二	2018	中村国武	2015	田村義昭	2020	河西邦彦	2015	古見喜八郎	2015	服部聡一郎	2041	石合正和	2016	宮坂 博	2019
羽田幸善	2017	西澤益男	2016	土屋信雄	2019	笠原征夫	2019	堀内木意	2017	馬場正彦	2015	石巻伸夫	2015		
馬場裕三	2015	林 嘉市	2016	戸塚英雄	2015	風間英信	2015	前田喜美子	2021	半田義昭	2017	和泉民人	2019	【50期】	
樋口忠夫	2017	星野 和俊	2018	中澤啓司	2018	神津 進	2021	松井平三	2023	半田喜章	2017	稲垣正武	2015	相場邦二郎	2015
堀部孝久	2017	堀内 昭	2020	西尾紀一郎	2024	小平節夫	2019	宮入裕夫	2016	山邊一磨	2019	荻原静寿	2016	甘利信明	2015
本郷達郎	2017	本田祥治	2015	野田晃弘	2017	小林英郷	2016	宮沢壮介	2016	堀内忠久	2025	掛川十次郎	2015	上原健一	2016
町田克二	2017	宮川克彦	2022	箱山 雍	2023	近藤征司	2015	宮本昌典	2015	増田隅雄	2017	掛川正司	2016	生島 満	2015
松井亮一	2019	宮下秀久	2019	畑 勲	2017	坂田征三郎	2016	柳澤 明	2015	村山憲太	2015	古平伸吾	2019	尾台 久	2016
水出清仁	2019	宮下厚樹	2016	馬場健一	2018	笹沢政道	2021	柳沢伸勇	2015	柳澤浩二	2016	小林武彦	2016	金井忠雄	2034
宮下博文	2016	宮島武源	2016	保科政男	2017	柴田義人	2018	山崎茂幸	2017	山崎達夫	2016	小林俊憲	2018	鹿野耕次	2015
宮島健治	2016	宮原清明	2018	細田 衛	2027	関 勝久	2022	山本正秀	2015	山田武彦	2018	小林孝典	2024	小山村之介	2017
森 嶺夫	2016	宮原安春	2017	畑 英毅	2018	瀬下正利	2018			山本農夫彦	2015	小山堯志	2015	竹内啓爾	2026
柳沢建夫	2019	宮本忠昭	2016	堀内 修	2022	滝沢 健	2017	【55期】		横田武夫	2016	佐々木淳二	2018	塚田 満	2017
柳澤喜明	2016	百瀬和紀	2018	本田 健	2017	竹内 仁	2015	青木幹男	2016	渡辺百枝	2016	佐藤健一	2015	新堀英行	2015
山口彦彦	2015	森 邦夫	2021	松木 功	2027	田代和美	2015	秋葉光廣	2019			柴田正人	2016	間庭秀人	2015
		矢嶋瑞夫	2020	宮坂幸雄	2016	立岩 環	2016	秋山弘志	2015	【54期】		清水忠治	2016	水野哲雄	2015
【60期】		山岸宣公	2017	宮下廣勝	2020	田辺順一	2015	荒井恒雄	2016	石合正治	2015	新保知右喜	2015	宮原省三	2022
青柳偕行	2015	山邊光一	2016	望月英明	2016	田村 功	2016	飯島慶三郎	2019	石井光春	2015	須藤尚彦	2015	柳沢洋一	2015
池田 清	2017	吉池千冬	2019	森田紀武	2015	鳥居次生	2018	井上 馨	2018	石原澄江	2016	関 正利	2017	山田秀昭	2015
井上 茂	2016	吉池正樹	2018	柳沢 孝	2021	長崎哲夫	2018	上原 尚	2015	市河富弘	2017	高橋たかち	2018	吉村洋一	2019



石橋 務	2015	佐藤陽文	2015	横関洋一	2017	柳田 稔	2017	成澤三雄	2029	小林圭一	2017	加賀美德行	2021	今井勇雄	2016
磯貝隼人	2018	高木信一	2019	若柳直人	2017	戴原和男	2020	西沢文昭	2019	小山平六	2019	笠井徳爾	2022	上原淳子	2018
生方健二郎	2017	田中啓子	2017			山崎一郎	2016	西澤信幸	2015	近藤晃理	2035	岸井進二	2019	大橋邦夫	2017
遠藤和美	2015	谷合裕子	2016	[66期]		山本淳一	2016	西村耕三	2022	斎藤実敏	2019	杵掛 忠	2019	尾上朝子	2018
大井恭子	2015	土屋英子	2016	秋山信吾	2016	吉田公生	2017	橋詰 徹	2016	酒井伸二郎	2016	久保田敬雄	2018	風間文彦	2016
小川亮夫	2018	堤 達	2015	浅野俊二	2020			林 壮治	2020	坂口典和	2017	栗谷川 洋	2016	北原英孝	2022
尾立孝司	2016	手塚 茂	2018	荒井和夫	2017	[65期]		深澤直行	2019	坂本喜廣	2019	神津久幸	2018	北村友和	2015
金井秀量	2015	西川明子	2018	荒井秀人	2015	赤尾晴夫	2016	藤川 昇	2022	佐藤澄江	2019	滝澤英明	2024	杵掛行徳	2020
蟹江由美子	2017	林 千春	2020	池田頼雄	2020	池田恵一	2016	保坂誠司	2018	塩入睦夫	2016	小林宣光	2019	黒澤博身	2019
河合紀美子	2016	原田健治	2017	石井登志子	2015	岩崎和雄	2016	保野野美智子	2022	塩入功三	2018	小山忠顯	2019	甲田 奏	2015
倉沢 裕	2018	松本哲夫	2017	石井茂夫	2018	岩崎ひとみ	2016	堀内敏文	2018	清水輝夫	2021	小山 満	2017	小関夏子	2020
黒田英臣	2018	丸山博見	2018	石井千里	2015	上原 昇	2020	松本有造	2016	清水孝彦	2015	坂井英樹	2015	児玉八十三	2016
桑原邦寿	2018	水島良子	2016	石黒初枝	2019	宇野直幸	2016	松山 久	2019	正村真治	2020	佐々木 豊	2018	小林公彦	2015
小池明夫	2016	村越 進	2015	市川正雄	2015	大野正広	2019	水野 隆	2018	鈴木綾子	2017	佐藤守正	2016	小松有也	2023
近藤正昭	2018	矢島 昇	2016	今井郷子	2015	大町敦子	2022	宮島正紀	2019	春原公人	2016	塩沢英巳	2015	小宮山 毅	2019
清水龍夫	2017	山崎 哲	2022	岩井正行	2016	岡田 修	2015	矢島正晴	2016	関 祥行	2016	篠原敬一	2019	小山比呂志	2015
下村文彦	2016	山下一雄	2024	大石雄司	2021	荻久保一男	2019	山浦善樹	2016	高梨奉男	2022	清水忠勝	2015	櫻井修一	2018
関 義和	2019	山本修士	2016	大久保健仁	2016	折井正博	2020	山浦成子	2015	高松郁夫	2018	関 勝男	2018	塩川英世	2015
高橋 襄	2020			大塚真郎	2019	柿崎良男	2018	山岸敬和	2018	滝澤 淳	2017	関 勝	2017	清水敏弘	2019
高見沢一彦	2019	[68期]		荻原芳明	2020	菊地暁子	2017	山極真咲	2015	滝沢伸吉	2016	高橋宗雄	2017	清水幸雄	2017
土屋文男	2016	青沼正人	2015	鬼久保潤一	2016	窪田通人	2017	山本寿美子	2018	滝澤 晃	2015	高山時彦	2015	下里 剛	2016
寺内政利	2015	石井 清	2019	笠原英明	2017	倉沢よりえ	2017	若林春樹	2015	田口象二郎	2019	滝澤 進	2023	白井 透	2021
栃原重文	2020	石井英俊	2015	北澤英男	2018	栗林みよ子	2017	若林英也	2015	竹淵 稔	2019	滝澤 雅男	2015	関 一嘉	2019
西嶋 正	2032	石垣洋子	2019	北島良男	2016	甲田幹夫	2017	渡辺節男	2015	多胡義孝	2018	田澤 洋	2024	袖山 脩	2019
馬場央白	2018	石黒 稔	2017	黒坂正文	2015	小瀬澄子	2022	渡辺常男	2016	田島善光	2020	玉木純雄	2017	高沢博行	2015
東川 巖	2015	稲守 隆	2016	桑名博子	2019	小林淳一	2018	渡辺弘之	2017	土屋和猛	2018	中村 貢	2015	鷹野芳機	2018
藤谷芳子	2017	井上明美	2023	小林芳樹	2016	小林鉄人	2015			土屋郁夫	2019	西澤正捷	2019	竹内善尉	2019
古畑克巳	2024	井部才揮	2015	小林周一	2018	小宮山雅子	2018	[64期]		遠山 暁	2016	野口文武	2019	竹倉征祠	2020
細萱文彦	2020	碓田 茂	2017	小山 茂	2019	小山佳朗	2019	浅井康彦	2016	富田光明	2015	羽毛田仗一	2017	田中武夫	2015
前田啓子	2016	大井 深	2015	笹澤和平	2020	櫻田喜貞徳	2020	茂井裕司	2018	永井正夫	2019	橋詰研一	2020	田中良樹	2015
松尾睦夫	2018	太田康夫	2019	塩崎良次	2015	笹沢政利	2018	有賀 猛	2020	中澤裕治	2021	平林芳子	2015	田中 節	2016
箕俣幸	2016	織田辰郎	2019	塩野崎英二	2017	佐藤徹郎	2019	石井則男	2018	中島正博	2015	星山輝男	2015	田中一穂	2015
宮澤 広	2023	尾台孝男	2019	清水信夫	2015	佐藤義雄	2018	磯村雄二	2023	中曾根弓夫	2015	細萱英久	2017	田中俊郎	2020
宮原光男	2016	金子元昭	2015	清水正憲	2016	真山 亨	2015	一條光枝	2015	中村房子	2021	堀内寿美	2024	塚田 晃	2020
村尾正子	2015	工藤敏夫	2019	清水 理	2015	澤井繁男	2023	一場美智子	2018	中山君平	2018	町田 章	2015	出嶋紀一郎	2016
山村由紀子	2019	工藤泰彦	2016	清水通男	2024	澤崎健一	2015	岡田 涉	2016	羽田啓吾	2015	松尾英昭	2020	戸塚武雄	2017
吉村邦彦	2018	栗林 茂	2015	菅沼恵子	2020	塩川明男	2016	荻原俊男	2018	別府直苗	2016	三井文人	2017	長崎 誠	2015
依田隆文	2016	甲田 廣	2017	清野勝芳	2017	塩川高敏	2018	奥村恭子	2017	牧野紀明	2028	宮坂 清	2020	丸山恭一	2016
		小林 明	2017	滝沢一郎	2016	清水俊文	2019	小野沢常裕	2018	松井由美	2019	宮澤達士	2015	中島敏男	2021
[70期]		小林照明	2019	田口 博	2018	神宮 進	2016	小野博見	2016	松山 武	2017	宮島英紀	2030	西沢国隆	2019
安藤 哲	2018	小林 誠	2018	竹内 進	2015	関森 壽一	2019	掛川修身	2016	宮坂和夫	2017	宮本和子	2019	沼形泰枝	2017
伊藤彰紀	2016	小山 実	2016	竹内豊和	2016	高見沢文雄	2017	片桐昭夫	2020	宮坂信章	2019	麦島和子	2020	羽毛田 信	2020
大橋志津江	2020	佐藤徳茂	2015	田中 修	2019	滝川幸子	2015	河合 廣	2015	宮崎信二	2019	望月 信	2017	久田英保	2019
君波昭治	2020	佐藤能延	2016	田中 茂	2021	滝沢政視	2019	北川原 智	2017	宮島佑吉	2016	諸岡征之	2018	福嶋 宣	2019
小池明子	2018	塩野入文雄	2017	田中富昭	2016	田口令子	2021	北原義男	2016	村上國夫	2018	矢島幹夫	2015	古川 敦	2015
小林則夫	2016	芝間伸剛	2019	田村和枝	2016	武澤美佐子	2020	熊坂一成	2025	村川誠子	2019	柳原 穰	2022	前田尚武	2017
佐藤秀紀	2015	清水 猛	2015	塚田敏夫	2018	田尻英哉	2015	小林千修	2015	室賀太郎	2018	山浦直次郎	2019	松井石根	2017
渡沢 稔	2020	清水洋一	2016	角田幸雄	2015	田中 昇	2016	小林武男	2017	諸岡健児	2018	由井 崇	2018	松林純夫	2016
白井 宏	2019	竹内信明	2018	中沢広重	2024	田中由紀子	2018	小松正佳	2016	柳沢昌俊	2016	吉岡 崇	2016	丸山久勝	2019
隅田滋彦	2017	多胡千恵子	2019	中嶋克比古	2016	田村栄治	2017	小宮山 孝	2015	柳澤敏雄	2021	吉澤善男	2017	武藤義勝	2018
田中茂雄	2024	土屋光博	2018	中村充夫	2015	塚田道明	2019	小山信彌	2016	依田欣五郎	2017	吉田光明	2015	森田英明	2016
田中正行	2019	土屋耕太郎	2022	三井邦夫	2019	土屋雄三	2015	塩川伸明	2018			若林邦夫	2019	両角 聡	2017
中村 冠	2017	土屋正道	2016	宮坂栄一	2016	鴉沢哲雄	2015	島田彰男	2015	[63期]				矢嶋邦彦	2016
中村建哉	2017	中川彰雄	2019	茂木俊郎	2019	中曾根隆義	2016	清水安雄	2015	青木郁夫	2018	[62期]		安間 襄	2022
中山長年	2015	中島みどり	2020	柳澤公雄	2018	中村宣夫	2016	清水計枝	2016	飯島俊文	2017	青柳健次	2018	柳沢直治	2015
長谷川隆男	2015	中村隆明	2017	山岸 豊	2015	中山正光	2018	清水敬久	2015	飯島正文	2018	柳田 勇	2020	柳沢 厚	2020
花岡千賀子	2015	西沢 悟	2018	山極正直	2018	成澤文和	2016	清水淳郎	2019	飯塚一雄	2020	浅井保雄	2018	山岸憲雄	2015
平賀淳子	2016	平林美穂	2017	山辺樹久生	2017	西澤省悟	2016	春原和民	2018	市村武次	2019	朝澤 智	2015	山岸文明	2018
丸山幸夫	2019	福澤 弘	2015	山邊豊文	2018	西村賢治	2018	大塚和弘	2021	大塚和弘	2018	有賀美夫	2019	山崎裕二	2015
緑川正博	2023	前田富生	2015	米山幸雄	2021	原田義則	2020	滝澤明憲	2016	河西郁男	2016	生田豊重	2016	山本哲之	2024
宮下有生	2017	牧野平二	2016			半田俊治	2016	竹中 司	2018	金沢嘉昌	2020	岩井重一	2022	渡辺達三	2016
安井道子	2019	松山研治	2015	[67期]		深町美由	2019	田中耕一	2020	川村恭司	2015	上原隆一	2018		
山岸悦夫	2016	丸山洋一	2015	飯島康夫	2015	保野野良治	2019	辻 佐知子	2017	神林 森	2015	大橋民男	2018	[61期]	
山本文和	2016	宮川俊晴	2017	石田清典	2019	牧野信明	2018	寺西孝昭	2017	北佳不二男	2016	岡村丈一	2018	青木良光	2015
		宮坂邦夫	2016	一宮眞理	2023	牧野泰晴	2015	直井隆徳	2016	木村公平	2016	小川朝行	2015	新井袈裟光	2018
[71期]		宮崎直之	2017	岩崎 章	2017	丸山敏明	2019	永井信介	2020	小林諒一	2019	片山隆行	2020	有坂猛三	2018
赤木千江子	2017	宮澤一幸	2019	上田 潔	2017	丸山道隆	2016	中沢勝義	2017	小林正則	2021	川上千秋	2015	池田 稔	2016
飯島 昭	2015	村上茂雄	2015	内山 隆	2018	丸山隆平	2019	中西載慶	2018	小林悠一	2019	木内和宣	2016	石井茂雄	2016
岩下秀市	2017	山浦雄一	2017	生島久資	2015	丸山暢久	2023	中山 敏	2016	佐伯謙吾	2020	北村克昭	2019	市川五朗	2016
内田みつ子	2017	山岸 馨	2015	掛川正幸	2022	宮川康三	2017	野村 一	2016	滝沢清文	2020	栗林久雄	2019	市川武伸	2018
岡野周子	2016	山本近雄	2016	金井正美	2019	宮崎光明	2018	樋村明久	2016	塩野入幸一	2019	栗山正雄	2016	井出孝光	2016
熊中康弘	2015	横山佐苗	2016	杵掛正樹	2020	宮澤 憲一	2016	平林正明	2016	関田正幸	2023	小出勝利	2016	井上 剛	2018
小林秀一	2017			熊坂文成	2015	宮原 豊	2019	松高賢一	2018	高寺 学	2016	甲田充彦	2017	上原勝二郎	2016
小林一輝	2019	[69期]		黒岩正一	2015	村山幸男	2018	宮坂信之	2016	滝沢鐵夫	2020	小須田光一	2017	内山澄孝	2016
小林孝弘	2019	青柳真二	2019	小林みゆき	2019	森 則雄	2015	宮地研二	2018	武井長久	2020	児玉一江	2019	大草猛生	2017
小牧秀子	2017	荒木由美子	2018	小林修一	2015	矢島哲夫	2016	宮下明子	2017	田中 正	2016	小沼照彦	2017	大澤裕吉	2018
近藤 徹	2016	荒木久文	2018	小林 猛	2015	柳沢賢次	2016	村居次雄	2022	田中 稔	2017	小林正樹	2024	大澤義隆	2017
白木一彦	2017	有賀秀典	2017	小松康夫	2018	柳澤光美	2015	矢ヶ崎 智	2024	角田玲子	2016	小林直樹	2020	荻原隆治	2020
杉崎経雄	2019	池田有美子	2019	小山正樹	2019	山浦陽士	2016	柳澤 信義	2018	内藤秀気	2016	小林 仁	2015	奥村喜美子	2017
高木公彦	2016	池田泰子	2018	坂口公一	2016	山極時生	2015	柳沢篤俊	2017	中沢秀夫	2017	小林美智子	2015	尾和正暉	2034



田中篤志	2019	【89期】	廣松さゆり	2015	石黒久仁子	2016	池田 宏	2015	滝沢正登	2019	川上幸則	2019	高木 繁	2022					
			小林幸治	2019	藤澤賢治	2016	小澤文明	2015	一杉恵理子	2017	塚田勝彦	2016	河野嘉子	2019	茅野昌義	2015			
【101期】			関 祐一	2019	三木美和	2015	鈴木巳季	2015	内田邦子	2024	樋沢克彦	2019	棚沢良和	2015	中沢庄平	2019			
青木 史	2015				宮島克仁	2015	龍野和徳	2017	鶴殿理枝	2017	宮島省吾	2018	小須田道彦	2017	中村一夫	2017			
		【90期】			若林 努	2015	谷川博幸	2016	神林尚秀	2015	両角 繁	2015	長谷川敏雄	2015	長谷川敏雄	2018			
【102期】			飯田茂幸	2019			中沢尚之	2019	倉島一喜	2015	柳沢幸治	2015	塩入 修	2018	林 芳樹	2015			
輿水理美	2016	佐藤一道	2018	【84期】			中野健治	2023	神津裕美	2019	山本享子	2015	須貝 博	2015	望月亮子	2017			
野呂安澄	2018	鈴木 礼	2016	篠塚未暁	2015	西谷江美	2019	河野えり子	2015	和氣寿子	2015	土屋秀俊	2015	柳沢幸夫	2018	柳沢幸夫	2018		
堀内 駿	2015	成田哲博	2015	清水昭彦	2016	長谷川 剛	2018	下形悦章	2019	渡邊聡明	2022	橋爪宏達	2015	吉池 豊	2017	吉池 豊	2017		
					清水博之	2015	花井克之	2018	竹花真理子	2017			橋爪尚子	2015	若林典雄	2016			
【103期】		【91期】			松本優樹	2015	花岡 健	2019	田村理恵	2015	【76期】		橋詰富博	2017					
大谷真宙	2016	滝沢綾子	2019	吉池 仁	2021	原 久美	2017	根本昭子	2018	内山憲一	2015	福内 敦	2019	【72期】					
金井咲保里	2016						柳沢孝之	2015	山崎豪敏	2015	金井一正	2015	藤木和彦	2020	青沼 泉	2015			
小岩井聡美	2017	【92期】		【85期】					吉岡雅子	2015	小島 玲	2015	藤澤市郎	2019	岩崎裕治	2016			
佐藤 有	2020	植松真弓	2017	内田久美子	2017	【81期】			吉田和子	2019	佐藤美恵子	2019	堀内秀雄	2018	榎本美智子	2015			
塩入詩織	2016			荻原松美	2016	五十嵐厚夫	2015		渡邊 博	2020	柴崎由美子	2018	前田昇三	2019	奥山利幸	2018			
古市和也	2017	【94期】		尾和正登	2016	金井教子	2015				清水順三	2018	宮下克彦	2015	川崎とみ子	2018			
水沢聡志	2017	榎本泰史	2015	春日一浩	2017	橋原 誠	2017	【79期】			芹澤雄二	2019	柳沢和也	2016	氣田夏子	2017			
師川絏一	2016			近藤弘司	2016	坂口善樹	2016	阿部真由美	2015	高池裕子	2019	柳沢昌行	2015	小林正典	2016	小林正典	2016		
		【95期】			疋田康二	2016	坂下宗昭	2019	井出浩一	2016	滝村 浩	2015			小宮山修邦	2018			
【104期】			橋本清香	2016	村上和香子	2015	高橋登美恵	2018	荻原 貴	2019	土屋久幸	2016	【74期】		佐藤哲夫	2016			
岩田菜里子	2018					戸島俊一	2020	木村範子	2015	鳴沢真一	2016	飯嶋俊樹	2015	関 博明	2015	関 博明	2015		
川合健治	2020	【96期】		【86期】		服部みどり	2017	黒坂 淳	2015	広田徳明	2018	石塚二郎	2018	関 雄二	2015	関 雄二	2015		
佐藤英則	2016	青木康史	2016	阿部貴子	2015	保科彰治	2018	小松純子	2015	福井正彦	2017	大平貴臣	2016	滝沢秀彦	2015	滝沢秀彦	2015		
清水文隆	2017	関 隆臣	2015	太田 仁	2016	毛利元晶	2016	小宮山恭子	2015	藤澤 靖	2015	荻原久俊	2022	田中 誠	2032	田中 誠	2032		
寺島亞希	2017			佐藤美那子	2015	横関正人	2016	笹沢英生	2015	堀籠秀直	2017	小林孝真	2018	田村順一	2015	田村順一	2015		
古澤 拳	2016	【97期】		関 良基	2018			清水雄至	2020			小宮山伸之	2019	寺嶋正明	2024	寺嶋正明	2024		
水野高夫	2017	依田恵美子	2018	吉池有司	2016	【82期】		田中秀樹	2015	【77期】		坂口洋三	2018	長坂武見	2018	長坂武見	2018		
							加藤民幸	2017	戸田由香	2015	牛田宏子	2015	清水直人	2015	平田圭吾	2017	平田圭吾	2017	
【106期】		【98期】		【87期】			重藤知夫	2018	中村憲治	2015	押金 勉	2016	竹内敏尚	2019	福田礼子	2016	福田礼子	2016	
堀 淳志	2016	関口豊和	2015	上沢美咲	2018	田玉智明	2018	野口克哉	2017	神村昌通	2021	土屋浩子	2016	船渡和男	2020	船渡和男	2020		
				滝澤味木子	2017	西沢知樹	2016	花岡和道	2015	岸 豊子	2020	土屋三千夫	2015	保科健二	2019	保科健二	2019		
【107期】		【99期】			藤巻恵理	2015	長谷川 浩	2016	馬場俊彦	2015	黒澤太平	2015	矢島基美	2023	矢島基美	2023	矢島基美	2023	
甲田英里子	2018	窪田健志	2017	松本博文	2016			早坂ゆかり	2016	神津富治男	2019	柳沢香枝	2017	依田昌樹	2015	依田昌樹	2015		
								松尾 弘	2020	小平 昭	2015	依田 研	2016	渡邊温子	2020	渡邊温子	2020		
【108期】			永井洋平	2017	【88期】		五十嵐恵子	2015	松木富士子	2018	小松義明	2016							
中村祐輝	2019	中嶋 豪	2020	池田剛生	2016	内川 智	2016	水沢 宏	2016	佐藤之俊	2016	【75期】		【73期】					
		宮澤陽介	2016	高星音楽	2015	榎本かおる	2016	両澤克彦	2016	佐藤一男	2016	一之瀬康利	2016	青木健一	2015	青木健一	2015	青木健一	2015
【110期】			矢島好太郎	2019	田中亜友実	2015	大野聡子	2016	若林勇文	2015	鳥居圭子	2018	今野ゆり子	2015	阿部直彦	2016	阿部直彦	2016	
草川竜也	2019	渡邊美涼	2015	中越陽子	2019	荻原昭彦	2015				柳沢宗男	2017	川畑久仁子	2015	石坂敦子	2018	石坂敦子	2018	
長島有理	2018			中島数晃	2020	尾添静子	2019	【80期】					小泉行徳	2015	梅原裕子	2015	梅原裕子	2015	
		【100期】			馬場久美子	2016	加藤直一	2015	會田信子	2031	【78期】		小林正宏	2019	大久保政男	2015	大久保政男	2015	
【112期】			關 雅之	2015	三井正樹	2015	倉島茂樹	2016	新井晶子	2016	青柳政美	2015	関口徹雄	2017	尾台通久	2020	尾台通久	2020	
塩入 養	2015	滝澤成晃	2018	宮澤仙踐	2015	竹内延彦	2016	五十嵐 剛	2018	五十嵐紀元	2016	大工原潤	2018	掛川治男	2015	掛川治男	2015		

寄付者 / 寄付グループ 2015年10月1日～2016年3月31日

ご協力ありがとうございました

期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)
43	横沢 昭安	5,000	50	山田 秀昭	2,000	60	日置 勇二	50,000	64	村居次雄	1,000
44-4	滝沢 源平	2,000	50	吉村 洋一	10,000	60	柳沢 厚	1,000	65	上原 昇	4,000
45	森 茂	10,000	50	渡辺 洋一	10,000	61	上原 勝二郎	1,000	69	高橋 実	2,000
46	清水 巻郎	2,000	53	小林 乾泰	2,000	61	沓掛 忠	3,000	73	堀内 秀雄	2,000
48	田原 敬	5,000	53	服部 聡一郎	2,000	63	佐伯 謹吾	2,000	80	五十嵐 剛	4,000
48	峯村 千徳	2,000	54	石井 光春	2,000	63	滝沢 鐵夫	1,000	81	毛利 元晶	3,000
48	吉村 功	2,000	54	藤村 延魚	10,000	63	矢島 正晴	1,000	98	長谷川 直紀	10,000
50	竹内 啓爾	10,000	57	小林 明	5,000	64	小林 武男	5,000		有志一同	4,520
50	翠川 勲	2,000	60	白井 透	5,000	64	竹中 司	1,000		計	183,520

## 櫻田法律事務所

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)

弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092 千代田区隼町 2-17 パレスサイド千代田 3F  
Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563  
sakura@sakurada-jimusho.com

## 土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号  
三田ビル3階(〒105-0001)  
TEL 03-3580-8588  
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎 (68期)



# 会員短信

## 新年会の出欠はがきより

43期 保刈大治

米寿とはこんなものかやおらが春(2015年3月) 去年今年 圧迫骨折癒えぬまま(16年新年) 米寿をば増すなり屠蘇祝ふ(同) ことしまた御慶の雀に馳走せり(同) 大治

43期 土屋 啓

週3回デイケアに通いリハビリに務めています。歩行困難で諸会合には不義理を重ねています。俳句でうさを晴らす暮らしです。

44-4期 滝沢源平

年齢のせいか好きなゴルフもウオーキングもできなくなりましてがなんとか頑張っております。

45期 森 茂

来年は米寿ですので、頑張っていきたいと思っております。

47期 三浦嘉治

会報楽しく読んでいます。今回91号は大河ドラマ関連あり、仙台と大阪が近く感じます。

48期 田原 敬

48期の集まりも昨年の9月まで昭和22年から続けてきましたが、終わることになりました。

49期 風間 充

間もなく85歳になります。毎日、

トレーニングに励んでいます。

51期 丸山 弘

久しぶりで友人と出席する予定。できましたら土、日曜日の昼か夕刻に開催してください。

51期 保坂利勝

頭がふらつき日赤で検査したら血管に亀裂があると。現状を受け入れて無理せず暮らしています。

51期 内久根孝一

「囲碁を小中学校の正課に」の署名活動、現在6万1000人ほど集まっています。さらなるご協力を。10万人達成の暁には文部省にお願いします。

51期 黒川嘉郎

今年も1月初旬の初漕でボートの幕開けとなり、5月ごろからレースが始まる。勝利を祈念しつつ練習に励みたい。

52期 武半正一

11月で傘寿を迎えましたが、地域活動にはできるだけ参加し、時折、なつメロカラオケでステージに立ったりしています。

53期 堀内忠久

会報91号に宮原魏先輩の著書が紹介されていましたが、先輩のことを書いた「ヒマラヤのドン・キ

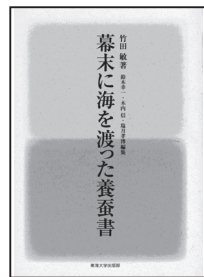
# 同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが最近出版した本を掲載しています。紹介したい新刊図書がありましたら、左記のメールアドレスに編集長の松本までご連絡ください。

matsu-tetsu@n01.iscom.net (定価は外税)

「幕末に海を渡った養蚕書」

竹田 敏(65期)



東海大学出版部 1600円

江戸時代「日本の養蚕の父」と言われた上垣守國の養蚕技術書

『養蚕秘録』がフランスで翻訳・刊行された経緯と謎を追った。日本型学校主義を超えて 戸田忠雄(53期)



筑摩選書 1700円

18歳からの選挙権、いじめ問題など激変する教育環境にどう対応すべきか。これまでの「改革」を検証、現場からの処方せんを提案。

「お化け図鑑を描きたかった少年」

内山憲一(76期)



港の人 1600円

フランス文学研究者の著者が50歳を過ぎて、自分の心に詩が湧いてくるのを感じ、書き留めた衝動が熟して1冊の詩集となった。

「走れ、走って逃げる」

小関夏子||母袋夏生(60期) 訳



岩波少年文庫 720円

ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害の嵐の吹き荒れるポーランド。ゲットから脱出した8歳の少年のサバイバルを描く

「チームを動かすファシリテーションのドリル」 山口博(79期)

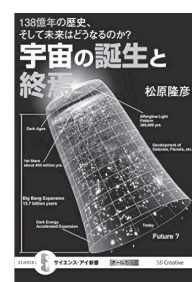


扶桑社 1400円

「1日1分30日」のセルフトレーニンングでプレゼンや会議で必ず結果が出せるようになる。「簡易化」のスキルが学べる1冊。

宇宙の誕生と終焉

松原隆彦(83期)



サイエンス・アイ 新書 1000円

宇宙に興味を持つ人が抱く数々の疑問に答えるため、宇宙論専門の著者が、誕生から終焉までをストーリー仕立てにし解説。

☆☆☆☆☆

神田美容外科形成外科医院

院長・医学博士

征矢野 進一(69期)

千代田区鍛冶町二一七二 〇三三三三〇二二

音楽家・コカリナ演奏家

黒坂黒太郎(正文) 66期

<http://www.kocarina.net/>

土屋綜合法律事務所

弁護士 土屋 文男(69期)

T10210073 千代田区九段北1-3-13 九段下東急サクラビル4階・8階 TEL03(3512)0211 FAX03(3512)0214

ホーテ」(中公文庫)は先輩が何に挑戦されているのか良く分かります。ぜひご一読を!

53期 小林乾泰

病気の治療中で、風邪をひくなど、下痢をするなど医師の注意がありますので、寒中、大事をとって欠席します。

53期 塚田 靖

50年以上住んだ埼玉県から引越して東京都民になり、まだ整理ができません。

53期 櫻井功輝

六文銭が家紋の真田家は現在望月に7軒あると聞きます。北条が沼田を落城できなかった腹いせに望月城を落とし、さらに春日城の依田信藩を追い詰めるや昌幸は北条の補給路を横から分断して撤退させたとか。真相は不明です。詳しい方お知らせください。

54期 藤村延魚

昨年から大学院のドクターコースを始め、論文の中間審査やら、レポートやらで息つくひまもなく、書物と格闘中です。

54期 倉島 彰

喜寿を超えてから思いがけない大病にかかり、現在も療養のため、新年会は欠席致します。

54期 深町勝男

今はオーバー75歳のサッカーに

参加しております。

56期 赤尾信吉

2組のクラス会が昨年ありました。今春も多勢集まりましょう。幹事 竹内弘君です。

56期 笹沢政道

リウマチの進行で手が不自由になりました。迷惑にならないようにいたします。

56期 飯高盛龍

初めての参加です。

57期 田沢雄二郎

元気で頑張っております。今年もこれまでどおり、野菜作りやゴルフ、海外旅行などを楽しみたいと思っております。

57期 伊藤紘二

15年3月に、46年間の大学勤めを終了しました。

57期 皆瀬 淳

目が悪く、夜間の外出は控えております。

57期 榎本金二

元気に過ごしております。

58期 寺島知恵子

寺島志織さんが上田高校生として室内楽班で演奏していた姿とお名前をすっかり覚えております。

60期 矢島邦彦

昨年は1本のみかんの木で200個ぐらい採れ大豊作でした。

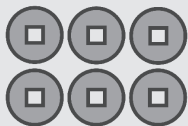
## 祝！第55回総会

総会実行委員長 古畑克巳 (69期)

今年は私たちが実行委員会の当番期です。皆さんの協力で総会・懇親会を盛り上げましょう。



69期



Outsourcingの知識集団  
株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳 (69期)

(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号  
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005  
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を  
ウエマツヤ

別所温泉 一人旅の宿 **上松屋** 心の自由劇場  
HEART THEATER

社長 倉沢 章 常務 倉沢 裕 (69期)

信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館  
〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地  
TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501

IT技術者募集中

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F  
TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836  
URL <http://www.s-giken.com>

ゴルフ同好会に参加しませんか!

毎年、春と秋にゴルフコンペを開催  
母校の先輩・後輩との新しい交流が生まれます

次回コンペは11月11日(金) 泉カントリー倶楽部  
新規参加者 大歓迎 ぜひご連絡ください

【ゴルフ同好会幹事代表】 古畑克巳 (69期)

TEL 090-6042-0566 cpafuruh@tky.3web.ne.jp



60期 塚田 晃

暖冬と言われておりましたが寒くなりました。同窓各位、どうぞご自愛あれ。

60期 小山比呂志

14年10月発足した上田高校吹奏楽団OB・OG会「松奏会」は千人を超える名簿が集まりました。

6月の現役定期演奏会に参加10月には「吹奏楽を楽しむ会」が催されました。

61期 滝沢雅男

平凡な日々を過ごしています。

62期 片山隆行

会報は各方面で活躍の同窓生がおられ、これを知ることができるのは素晴らしいことです。

63期 佐伯謹吾

中学卒業以来絵筆をとり、水彩画を始めました。

64期 清水計枝

会報に掲載していただいている64期の「東海道53次の旅」も、10月には日本橋に到着予定です。

66期 清野勝芳

真田丸大変楽しみですね。六文

### 真山隆夫前編集長を悼む



2月27日 朝、「真山隆夫さん(62期)が

昨夜亡くなられた」と電話があった。一瞬絶句してしまった。2週前に「薬の副作用がひどいので少し入院し休調を回復します。松尾倶楽部会報の編集を頼みます」とメールを受けたばかりだったからだ。闘病は知っていたが、あの快活な男がこんなに突然逝ってしまうとは予想もなかった。

知って複雑な思いを味わった。井上元編集長の下で小生も編集委員を務めた当会報を彼が編集長で引き継ぎ、自らレイアウトを行ない質量ともに一新したこと。十余年小生が続けてきた松尾倶楽部会報の編集を1年ほど前に快く引き受け、これも革新しようとしてくれたこと。彼が果たしてくれた貢献は極めて大きかった。

3月11日、芝高輪会館で開かれた「お別れの会」では、同期の仲間、同窓会のメンバーが集い、にこやかな彼の遺影の前で献花の後、「秋玲瓏の」と校歌を歌って送った。校歌で胸の奥がジーンとする思いは生まれて初めてだ。彼の魂の安かれと祈るばかりである。

宮島光男(55期)

銭軍団の活躍を大いに期待しています。

71期 小林清隆

会報で丸山清光先輩が宮原清桜井弥一郎両氏を紹介されていま再認識するとともに、現役上高生の活躍を改めて願います。

72期 関 雄二

今年3月末定年退職予定です。まだまだ楽隠居というわけにはいきませんので再就職して働くつもりです。

74期 小宮山伸之

17年ぶりに都心の病院に勤務しております。心臓や血管の病気についていつでもご相談ください。

75期 一之瀬康利

1月からマレーシア、ペンゲランに1〜2年駐在いたします。

78期 青柳政美

行事には全く参加できませんが会報は楽しみに読んでおります。

81期 毛利元晶

3月26日に下関市で旧長州長府藩および長州清末藩の会長清会があり出席してまいります。

90期 飯田茂幸

司法書士事務所を運営しています。5周年を迎える16年は、飛躍の年となるよう頑張ります。

## 訃報

### 心よりお悔やみ申し上げます

期	氏名	死亡年月日	期	氏名	死亡年月日	期	氏名	死亡年月日
38	小林 三郎	2015年9月	51	堀内 照雄	2008年8月16日	57	池田 教範	—
47	花村 義男	2011年	52	上原 佳和	2016年3月18日	60	中島 亨	2015年11月7日
48	平林 直之	2014年10月18日	53	宮入 毅匡	2015年	62	真山 隆夫	2016年2月26日
49	上野 貞夫	2015年11月4日	53	小泉 孟	2015年11月	63	山浦 衛	2015年11月9日
49	田村 和男	2015年9月17日	53	堀内 正智	2015年11月8日	98	長谷川 直紀	2015年10月20日
50	伊藤 澄夫	2011年11月20日	55	羽田 宏	2015年12月			
50	半田 武男	2013年10月28日	56	藤原 謙之	2015年3月			

### 編集後記

上田高校で担任だった矢島薫先生が、俳句界の最も権威ある賞とされる蛇笏賞を受賞された。おおらかさと厳しさを併せ持った先生で、私たちは親しみを込めて「薫さん」と呼んでいた▼世界史と倫理社会を教えていただいた。3年の模擬試験で志望校欄に「お茶の水女子大」と書いてとぼけていたが、性別でなく点数で不合格ラインの判定。その後の面談では、結果の悪さは厳しく指摘されたが「お茶の水」は優しく見逃していただいた▼悲しい出来事も。私が編集長を引き継いだ真山隆夫さんが2月亡くなられた。引き継ぎ後、2回ほど都内まで出向い、くれ、レイアウトソフトの使い方を教えていただいた。私の2回目の編集90号は、難しい表の取り込みがあり、何度か電話で教えてもらいまだ不安の残る中「入院する。誰にも言わないで」と言われ青くなつた▼何とか発行した後、総会に顔を見せた真山さんは、笑いながら「もう大丈夫だな」と一言。「まだだめです。お願いしますよ」と私。これが最後の会話になった。「真山さん。大丈夫じゃないですよ」。ありがとうございました。ご冥福をお祈りします。 松本哲夫



## 読売文学賞を受賞 沓掛良彦氏 (57期)

古代ギリシャから近代まで古今東西の詩を訳して一冊の本にまとめた「黄金の豎琴」が第67回読売文学賞（研究・翻訳賞）を受賞した。専門は西洋古典文学の研究で、東北大助教授を経て東京外語大の外国語学部長を務めた。訳詩は専門ではないが「詩を愛することにかけては人後に落ちないと自負している」と前書きに書いている。「魅せられ心惹かれる異邦の詩を自分自身の言葉に直し、わがものにすることに喜びを感じる」とも。

今回受賞した訳詩集は自身のための「紙の墓標、だという。自分の仕事を振り返ってエッセンスを形のあるものとして残したかったと話す。訳詩は世間で顧みられることが少ないうえに、古代、中世の訳詩は注目されることも少ない。半

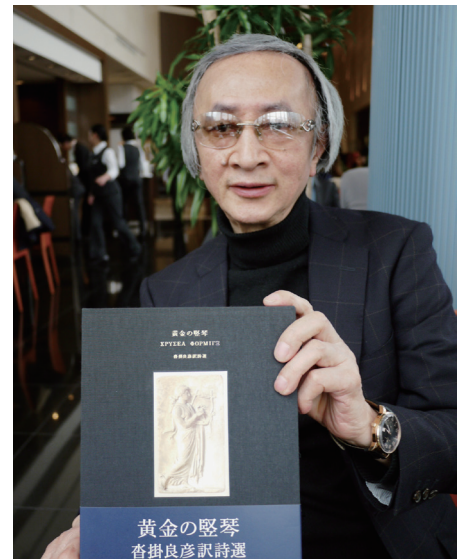
ばあきらめていたところに、知り合いで出版社も経営し、メセナで芸術家などを応援している会社社長から「うちで出しましょう」と話があり、以前本を出していたこともあり話がすぐにまとまった。30代半ばから、約40年間に訳した詩の中から選んだという。

完成した本は1000部限定の通し番号のついた8000円近くする豪華本だった。今回の受賞について「自分の集大成と思ったものが認められたことは、格別にうれしい」と喜んだ。

古典文学の研究者の一方、自ら狂詩、戯文をつづる。これまで40冊近い本を送り出しているが、著書の題名には酒にまつわるものが多い。「讀酒詩話」「文酒閑話」「壺中天酔歩…」。一杯やりながら

趣味でもある狂歌や漢詩を声に出して読むのが楽しみという。「もう年なので昔のような大酒は飲めないですがね」

学生時代から「枯骨閑人」を名乗っている。最近<sup>ろうろう</sup>は戯号に「老耄書



受賞した訳詩集を手に渋谷区のホテルで

客が加わった。「ボケジジイということですからこれは最近ですよ」

大学ではロシア文学を学んだ。ラテン語、スペイン語なども翻訳していると聞き「何カ国語がお分かりになりますか」と尋ねてみた。「ギリシャ、スペイン、中国、プロバンス…。何とか読んで分かるものまで入れると10カ国語ですかね」とささり。

最近<sup>ろうろう</sup>は陶淵明、和泉式部、西行らの東洋の文学がよくなってきた。「横文字よりいいですね」と話す。

出身は上田市塩尻。



文学賞贈賞式で。右端が沓掛氏（東京・帝国ホテル）

### 年会費納入にご協力を！

関東同窓会では総会、新年会開催などの活動や年2回の会報発行などを通して会員の皆さまの交流の場を提供するとともに、テーマごとの委員会活動を実施しています。上田の同窓会本部からは独立した組織で運営しており、運営費は関東在住の同窓生を中心とする年会費（2千円）、寄付金および会報広告料によって全てが賄われています。近年では総会での母校班活動招聘などによる支出増で単年度収支では赤字が続いております。

2016年3月末時点での会員（5,630人）の年会費納入率は約25%で、期別では、50期代64%、60期代41%、70期代20%、80期代9%、90期代4%と若くなるに従っ

### 同窓会はあなたの会費で運営されています。

て低くなっています。50期代前半の皆さまが年会費免除年（80歳）になることを考慮すると、70期代以降の会費納入促進が急務の状況です。代表幹事のご協力を頂き、年会費納付キャンペーンを3年続けて実施しましたが、期単位でのばらつきが大きいことも課題です。

今回の基金活用検討委員会でも「同窓会の運営経費は基本的には年会費によって賄われるべき」との意見を頂いています。本年度も年会費納入のお願いを継続していきますので、ご理解・ご協力よろしくお願ひします。

幹事長 倉沢 裕（69期）